使い方の手びき

《取扱説明書》

ご使用前に、この取扱説明書を十分、お読み下さい。
この取扱説明書はお使いになる方が、いつでも見られるところに保管して下さい。

安全にご使用いただくために

このミシンを、安全にご使用していただくために、以下のことがらを守って下さい。
このミシンは、日本国内向け、家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY

警告　感電、火災の恐れがあります

1．一般家庭用交流電源100 Vでご使用下さい。
2．以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを引き抜いて下さい。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電、火災、けがの原因となります

1．フットコントローラーの上に物を乗せないで下さい。
2．お客様自身での分解、改造はしないで下さい。
3．ミシンの操作時は、ベットふた、面板などのカバー類を閉じて下さい。
4．ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないで下さい。
5．曲がった針はご使用にならないで下さい。
6．縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないで下さい。
7．お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意して下さい。
8．以下のことをするときは、電源スイッチを切って下さい。
・針、針板、押え、アタッチメントを交換するとき
・上糸、下糸をセットするとき
・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行って下さい）
・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うとき
9．ミシン、フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お近くの販売店、または、サービスセンターにて点検、修理、調整をお受け下さい。
・正常に作動しないとき
・落下などにより破損したとき
・水に濡れたとき
・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき
・異常な臭い、音がするとき

目次

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

絵表示の例

△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠ 警告 感電・火災の恐れがあります。

一般家庭用　交流電源　100 V でご使用ください。

以下のような時は、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意 感電・火災・けがの原因となります。

フットコントローラーの上に物をのせないでください。

お客様自身での分解はしないでください。

ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。

ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。

【禁止】
曲がった針はご使用にならないでください。

お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。

以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。
・針・針板・押え・アタッチメントを交換するとき
・上糸・下糸をセットするとき
・ランプを交換するとき
（ランプが冷えてから行ってください。）
・ミシンのお手入れを行うとき

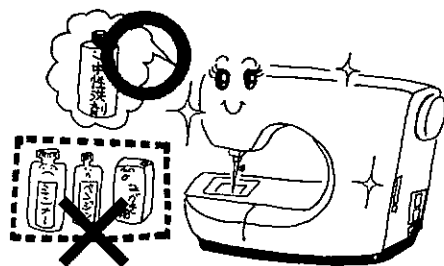
ミシン・フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お近くの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
・正常に作動しないとき
・水に濡れたとき
・落下などにより破損したとき
・異常な臭い・音がするとき
・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

おとり扱いについてのお願い

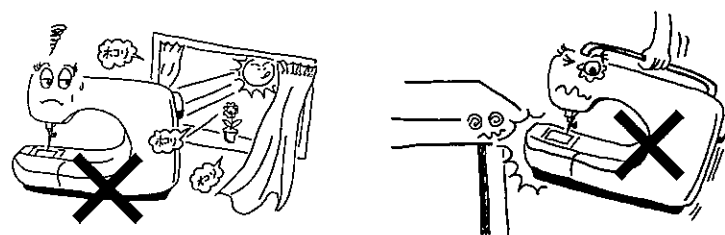
◇ご使用の前に

① ほこりや油などで、縫う布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。

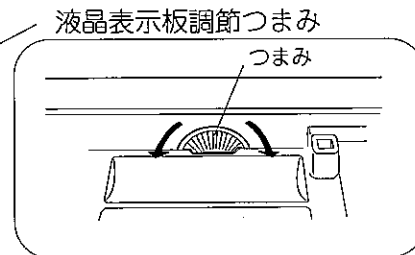
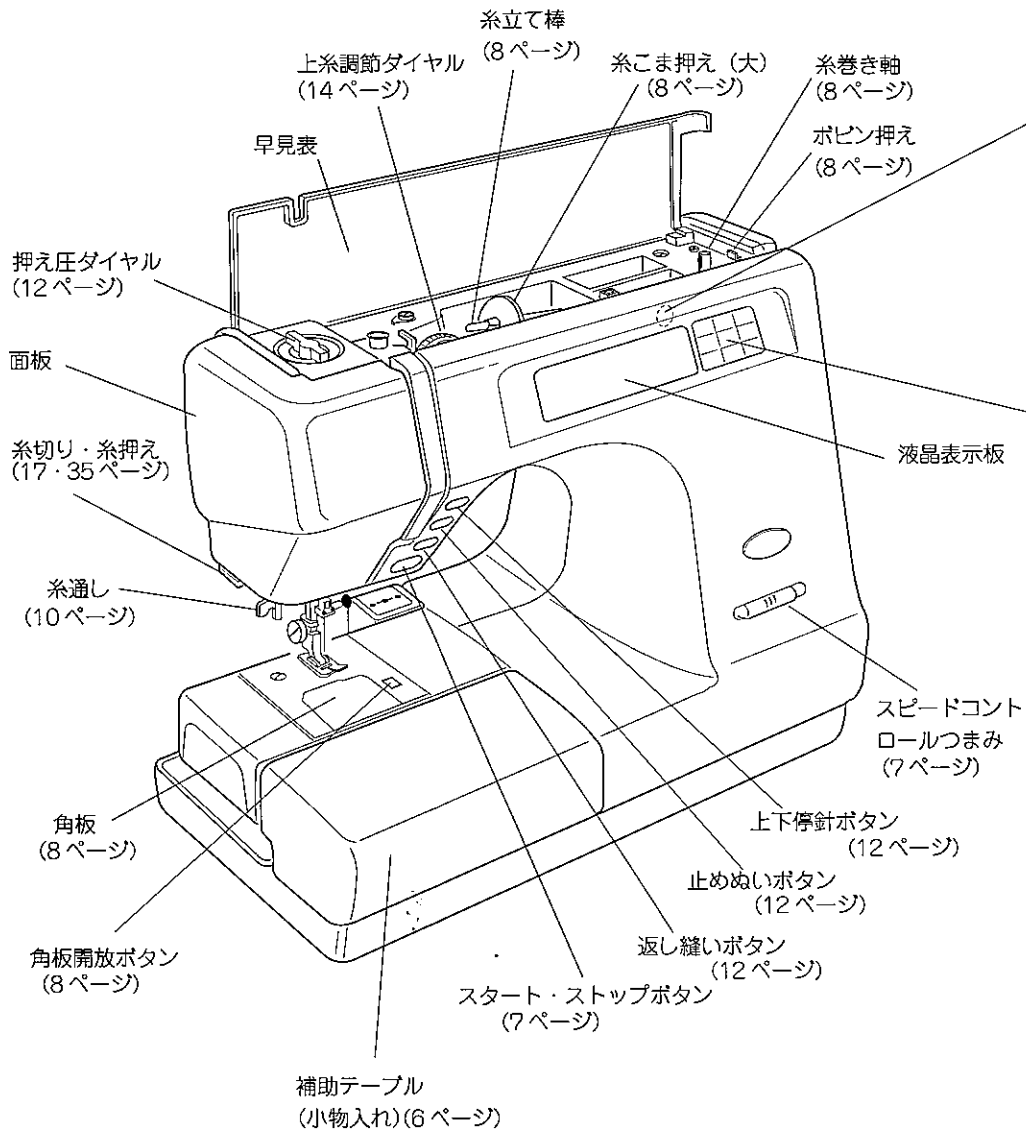
② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

① 長時間日光に当てないでください。

② 湿気やほこりの多いところは避けてください。

③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」（50～52 ページ）により点検・調整を行ってください。

●各部の名まえ

糸立て棒
(8ページ)
上糸調節ダイヤル
(14ページ)
糸こま押え（大）
(8ページ)
糸巻き軸
(8ページ)
ボビン押え
(8ページ)
早見表
押え圧ダイヤル
(12ページ)
面板
糸切り・糸押え
(17・35ページ)
糸通し
(10ページ)
角板
(8ページ)
角板開放ボタン
(8ページ)
補助テーブル
(小物入れ)(6ページ)
スタート・ストップボタン
(7ページ)
返し縫いボタン
(12ページ)
止めぬいボタン
(12ページ)
上下停針ボタン
(12ページ)
スピードコントロールつまみ
(7ページ)
液晶表示板
キーボード
液晶表示板調節つまみ
つまみ
◎つまみをまわすと液晶表示板の明るさが変わります。
記憶キー
(刺しゅう縫い)
(38ページ参照)
取消キー
(刺しゅう縫い)
(38ページ参照)
メニューキー
(15・34ページ参照)
記憶
取消
メニュー
サイズ
A a
縫位置
前ページ
次ページ
戻る
縫い位置キー
(刺しゅう縫い)
(36・39ページ参照)
戻りキー
(15ページ参照)
画面切替えキー
(15ページ参照)
画面切替えキー
(15ページ参照)
文字サイズ切替えキー
(刺しゅう縫い)(37.40ページ参照)
字体切替えキー
(刺しゅう縫い)
(37ページ参照)

●各部の名まえ

手さげハンドル

天びん
(10 ページ)

はずみ車

カード差し込み口
(44 ページ)

メモリーカード

押え上げ
(11 ページ)

BH 切替えレバー
(23 ページ)

押えと
押えホルダー
(6・31・34 ページ)

ドロップつまみ
(34 ページ)

カード取り出し
ボタン
(44 ページ)

針止めねじ
(31 ページ)

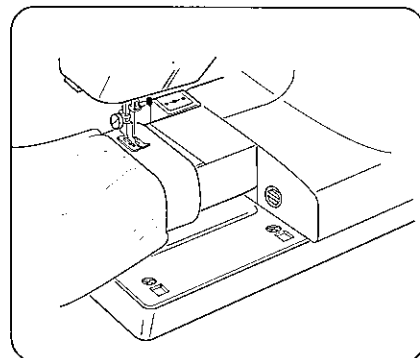
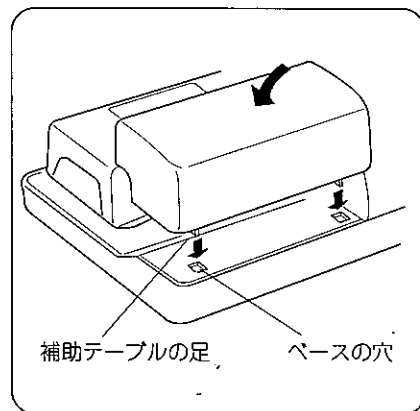
キャリッジ
(刺しゅう縫い)
(34 ページ)

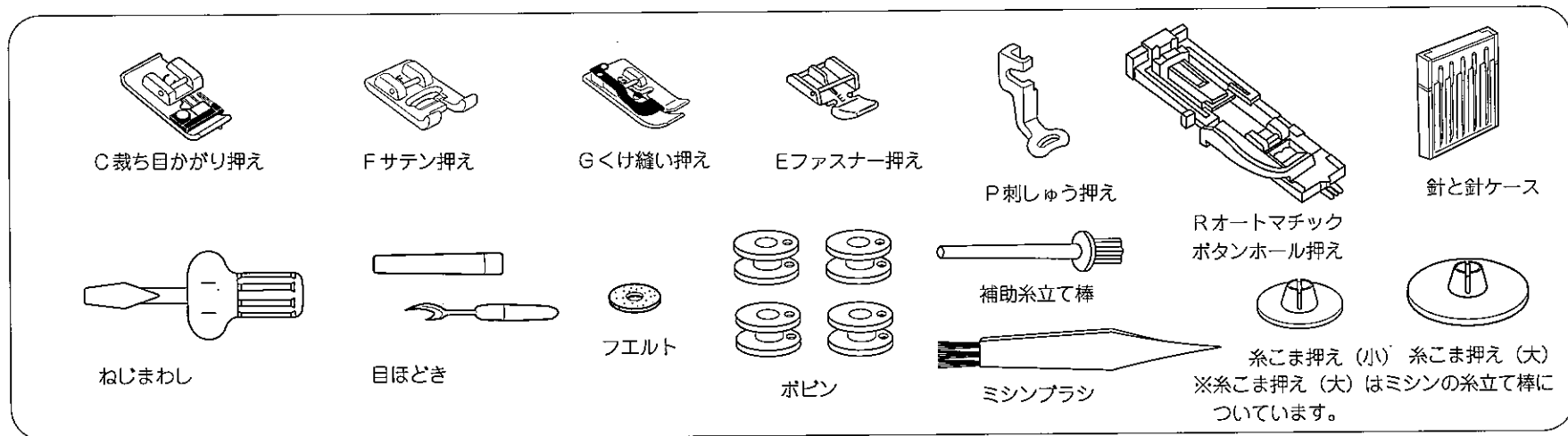
電源プラグ
(7 ページ)

プラグ受け
(7 ページ)

電源スイッチ
(7 ページ)

●フリーアームにするには

◎補助テーブルの下側に手をかけて持ちあげはずします。

◎袖口や裾などの縫い、および袋物の口端の始末に利用します。

◎補助テーブルをつけるときは、ベースの穴に補助テーブルの足をのせて上から軽く押しつけます。

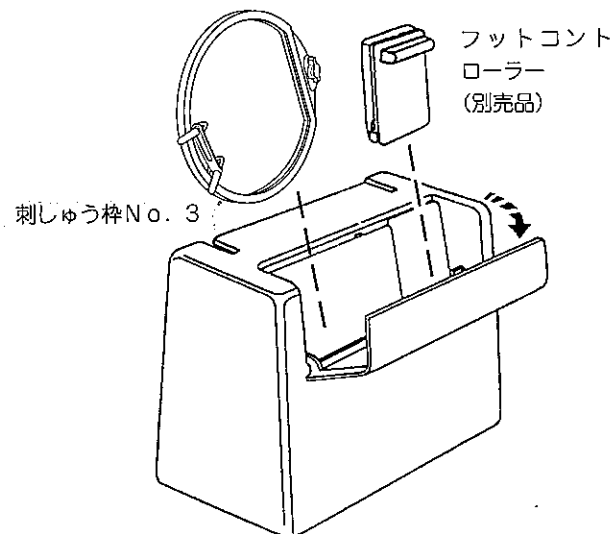
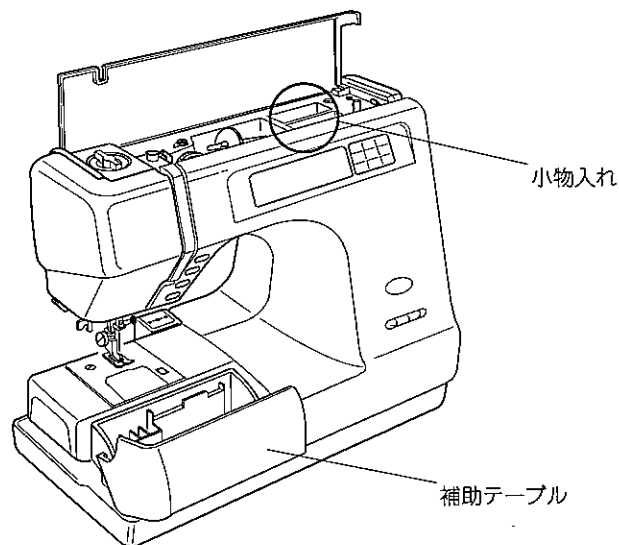
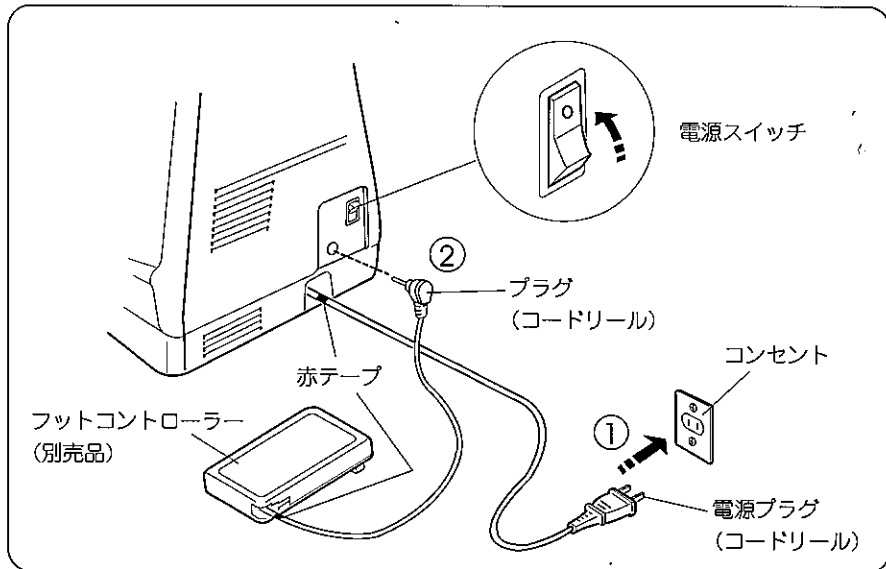
●標準付属品

★小物入れ ———— 天板と補助テーブルの２箇所に収納できます。

小物入れ

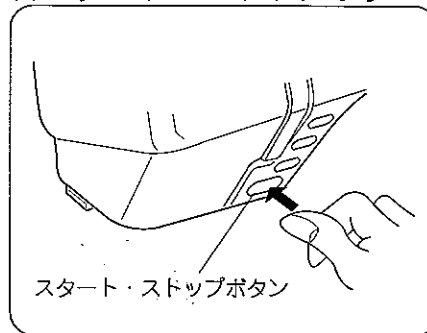
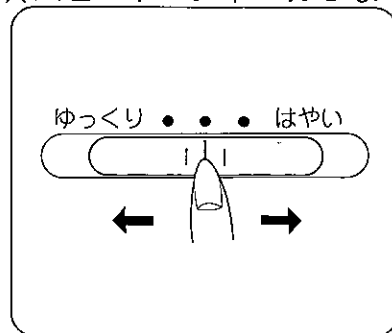
補助テーブル

［ポータブルケース］

フットコントローラー
（別売品）

刺しゅう枠No．３

●電源のつなぎかた

◎スタート・ストップボタンを使用する場合
　①の電源プラグを差し込みます。
◎フットコントローラー（別売品）を使用する場合
　②．①の順にプラグを差し込みます。
◎プラグを差し込んだら、電源スイッチを「入」にします。

●速度の調節

★スタート・ストップボタン

◎ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりと縫ってから、スピードコントロールつまみでセットした速さで縫いはじめます。

★スピードコントロールつまみ

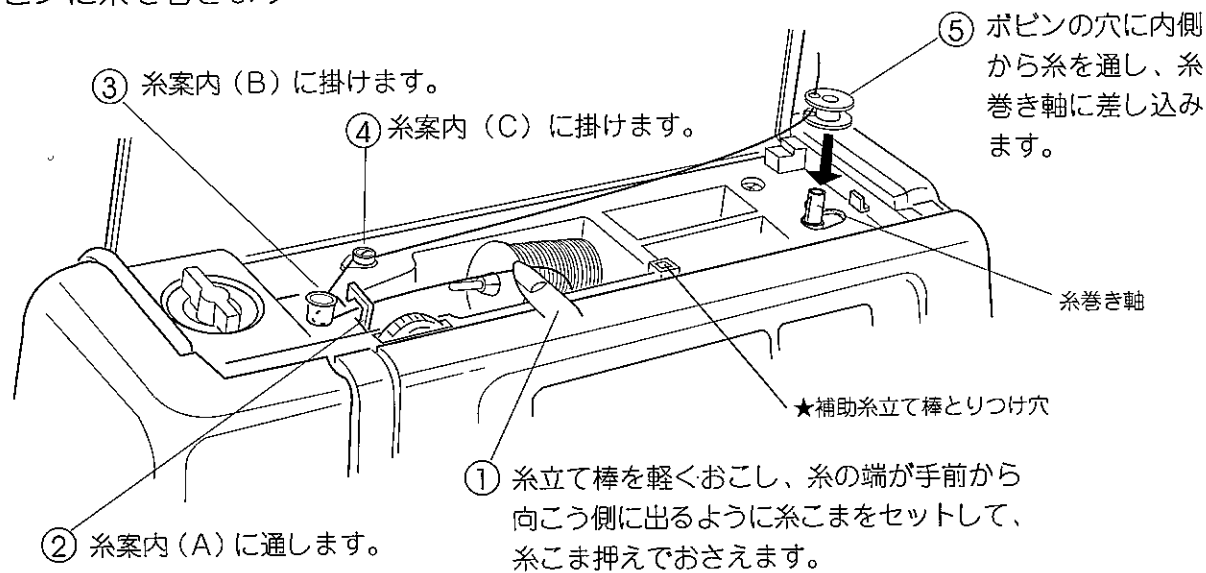
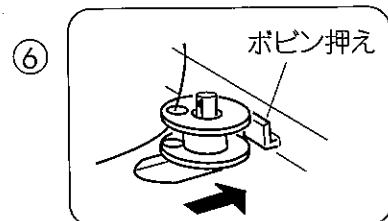
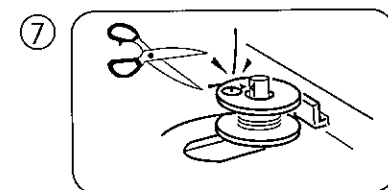
◎縫う速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。

※ゆっくりの時、モータ保護のために安全装置がはたらく事があります。この場合は、少し速めにしてお使いください。

【注意】

※プラグを差し込むときには、必ず電源スイッチを「切」にしてください。
※フットコントローラーのプラグ（上図②）を差し込むと、スタート・ストップボタンは、使用できません。
※刺しゅう縫いでは、フットコントローラーは使用できません。
※電源スイッチの「入」、「切」の操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも５秒以上間隔をあけてください。
※電源投入後、コンピュータ制御の為ステッピングモータからわずかな共鳴音がする場合がありますが異常ではありません。
※電源プラグやコントローラーのコードリールは、赤テープの印より引き出さないでください。

●下糸の準備

★ボビンに糸を巻きます

※糸こま押え（小）は、小さい糸こまに使用します。

⑥
ボビンをボビン押えの方に押しつけます。

⑦
糸の端をつまんだまま、スタートして、ボビンに糸が三重くらい巻きついたら、止めて糸を切ります。

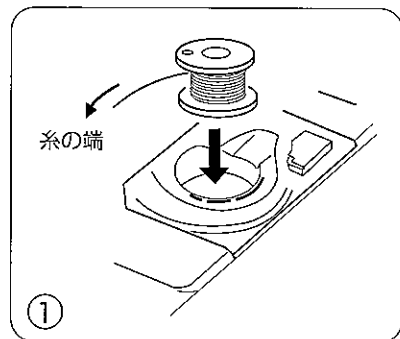
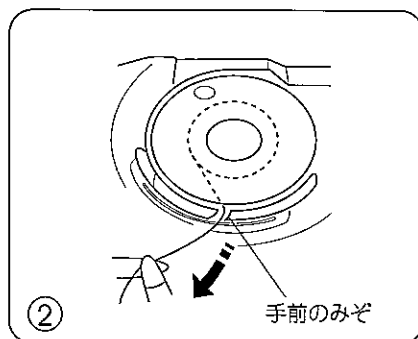
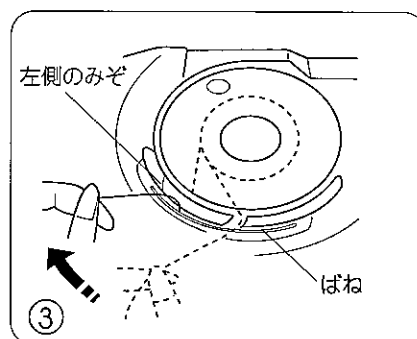
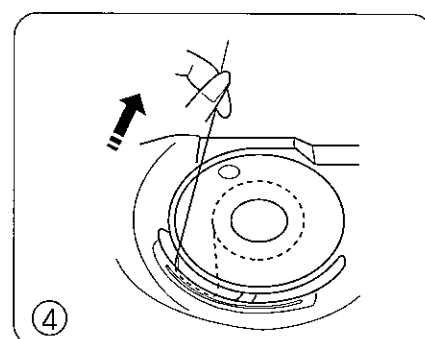
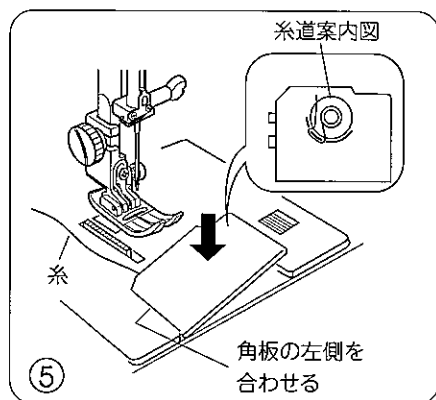
⑧
ふたたびスタートして、巻きおわるとボビンの回転が止まります。
ミシンを止め、糸巻き軸よりはずして糸を切ります。

★ボビンの取り出し

①角板開放ボタンを右へずらして角板をはずします。

②ボビンを取り出します。

★補助糸立て棒のとりつけ方

★ボビンをかまにセットします

①糸の端を矢印方向に出し、
ボビンをかまに入れます。

②糸の端を引きながら、手前の
みぞに掛けます。

③糸を引きながら、左へ移動さ
せ、みぞの外側とばねの間を
通して、左側のみぞのところ
に出します。

④糸を左側のみぞに掛けるように
向こう側に出します。

⑤下糸は10cmくらい引き出
して、角板を左側から合わせ
てつけます。

●上糸の準備をしましょう

★上糸を掛けます

① 押え上げをあげ、糸案内（A）と（B）に掛け、糸案内板にそっておろします。

糸案内（B）　糸案内（A）

③

天びんに、右からうしろへまわして左手前に出し、まっすぐにおろします。

押え上げ

糸通し

② 糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。

④ アーム糸案内に右から掛けます。

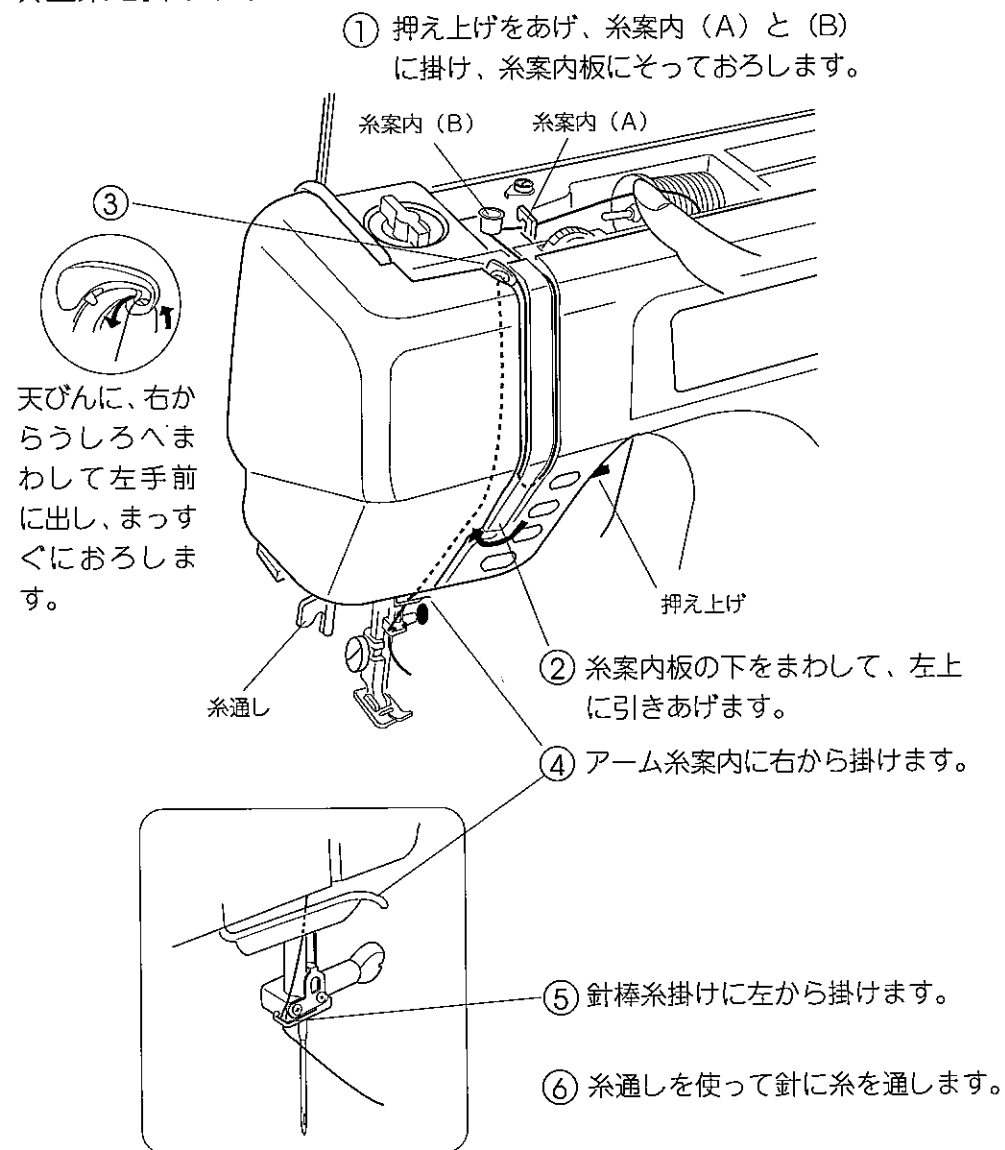
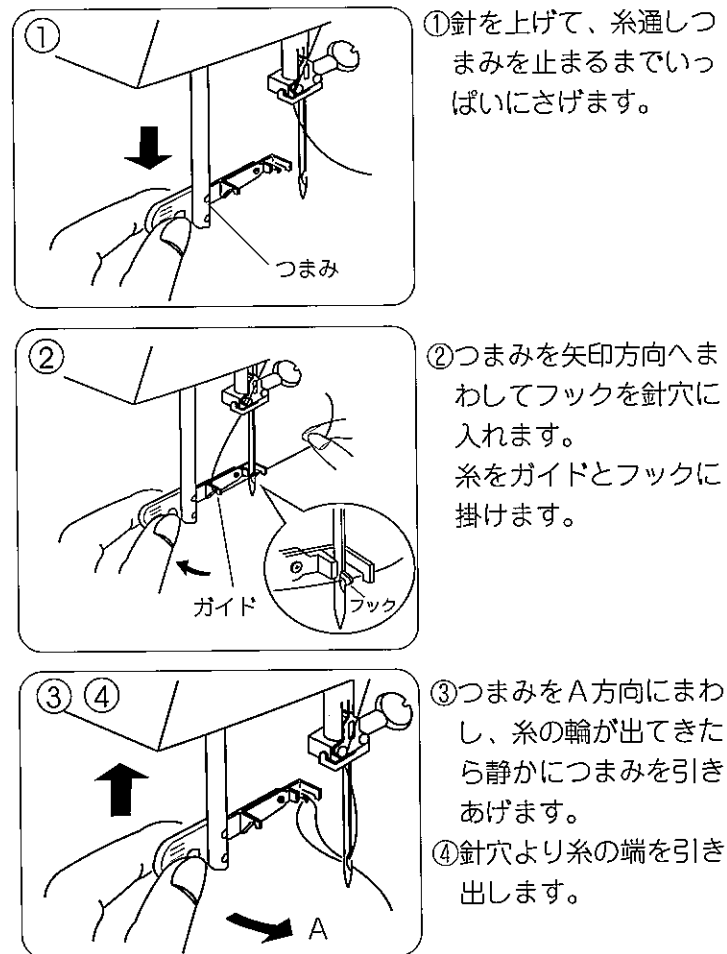
⑤ 針棒糸掛けに左から掛けます。

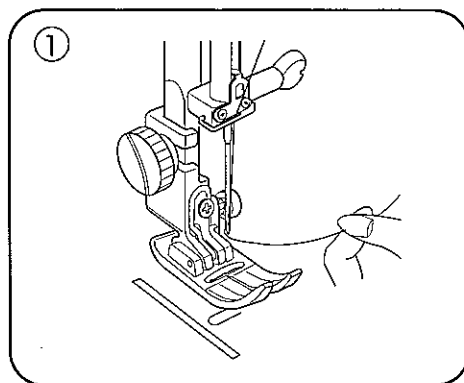
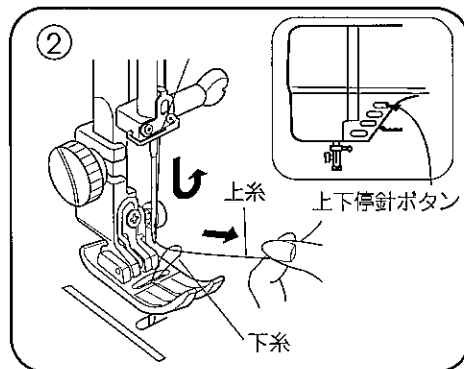
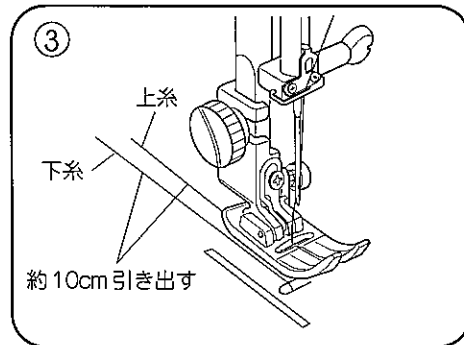
⑥ 糸通しを使って針に糸を通します。

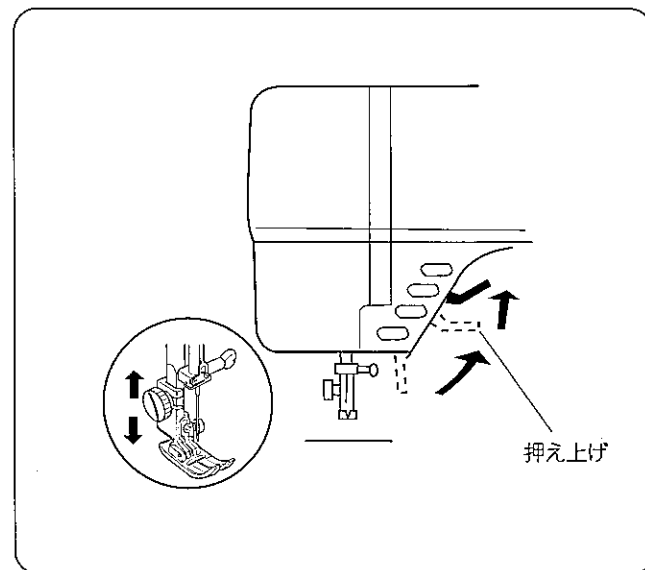
★糸通しの使い方

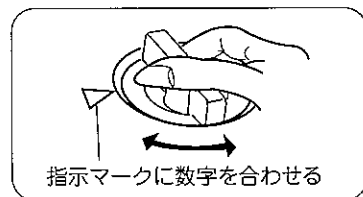
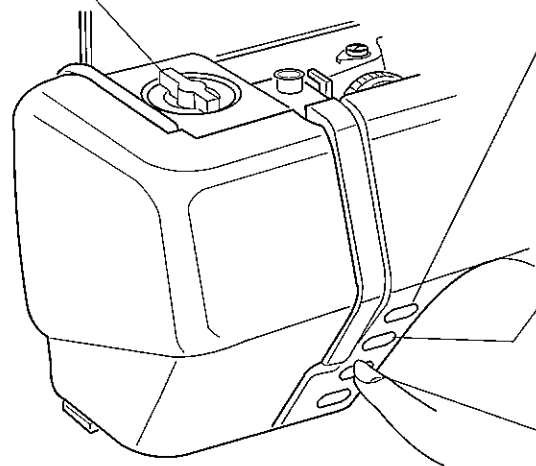
①針を上げて、糸通しつまみを止まるまでいっぱいにさげます。

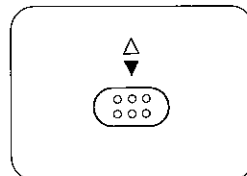
②つまみを矢印方向へまわしてフックを針穴に入れます。
糸をガイドとフックに掛けます。

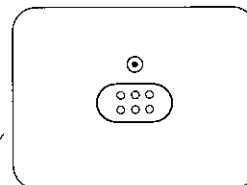
③つまみをA方向にまわし、糸の輪が出てきたら静かにつまみを引きあげます。
④針穴より糸の端を引き出します。

※針は、11～16番、およびジャノメブルー針が使えます。
糸は50～100番が使えます。

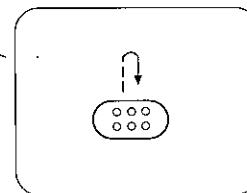
★下糸を引きあげます

①押えを上げ、上糸の端をゆるめて
持ちます。

②上下停針ボタンを２度押して、針
をあげます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引
き出されます。

③上糸と下糸を、押えの下から向
こう側に引き出して、そろえて
おきます。

●押え上げ

押え上げで、押えの上げ下げをします。
押え上げを普通にあげた位置より、
さらに高くあげると、押えはさらに
あがります。

●押え圧ダイヤルの使い方

◎普通縫いのときは・・・・・「3」
◎うす手の化繊地や伸縮性のある布などで縫いずれがするとき、または、縫いしろ部分が重なり合うときは
・・・・・・・「2」または「1」

●針の上下と止め縫い・返し縫い

★上下停針ボタン

◎ボタンを押すと、針が上位置か下位置で止まります。もう一度押すと、上下位置が切り替わります。

★止め縫いボタン

◎模様 1 2 7 8 は、ボタンを押すと数針止め縫いをして自動的に止まります。他の模様縫いのときは、模様を最後まで縫い止め縫いをして自動的に止まります。

★返し縫いボタン

◎模様 1 2 7 8 は、ボタンを押している間は返し縫いをします。その他の模様のときには止め縫いをして自動的に止まります。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

布の厚さ	布の種類				糸	針
	木　綿	絹	ウール・化繊織物	ニット		
うすい布	ローン ボイル	シフォン ジョーゼット オーガンジー	デシン クレープ モスリン	スムーズニット地 トリコット地	絹　糸　80番〜100番 綿　糸　80番〜100番 化繊糸　80番〜100番	9番〜11番
普通の布	ブロード サッカー ピケ	タフタ ファイユ サテン	ジョーゼット フラノ サキソニー	ジャカード ニット地	絹　糸　50番 綿　糸　60番〜80番 化繊糸　50番〜80番	11番〜14番
					綿　糸　50番	14番
厚い布	デニム キルティング ギャバジン		ツイード ギャバジン コート他	ダブルニット地	絹　糸　50番 綿　糸　40番〜50番 化繊糸　40番〜50番	14番〜16番
					絹　糸　30番 綿　糸　30番	16番

※ふつう上糸と下糸は同じ糸を使います。

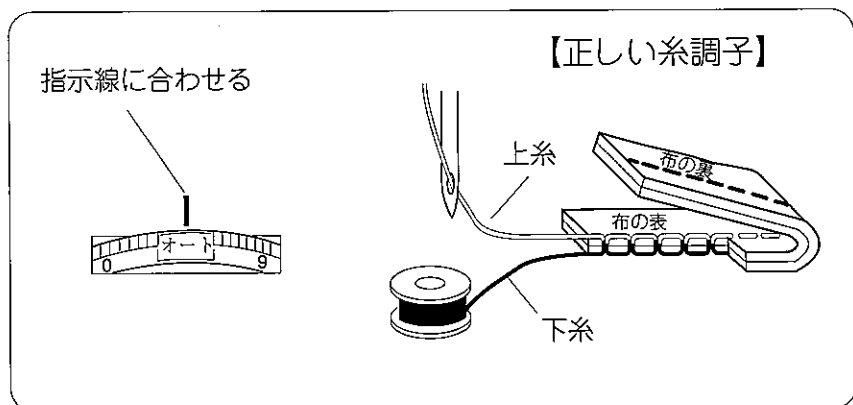
※うすい布には細い糸と針、厚い布には太い糸と針を使いましょう。

※針や糸は、実際に縫う布のはぎれを使って、必ず試し縫いをして確かめてみましょう。

※ジャノメブルー針は、柄の部分が青色をしています。伸縮性のある布（ニット地）や、目とびしやすい合繊や化繊の布に効果があります。
（市販ＳＰ針も同様の効果があります。）

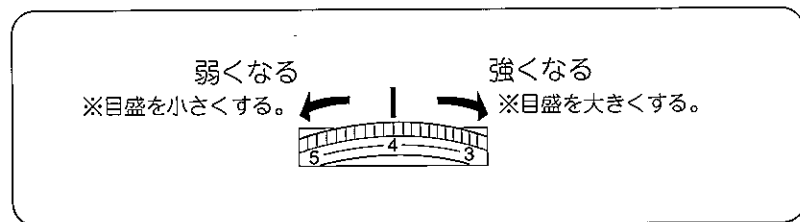
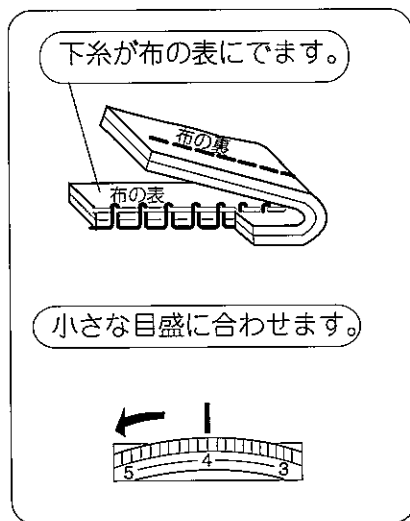
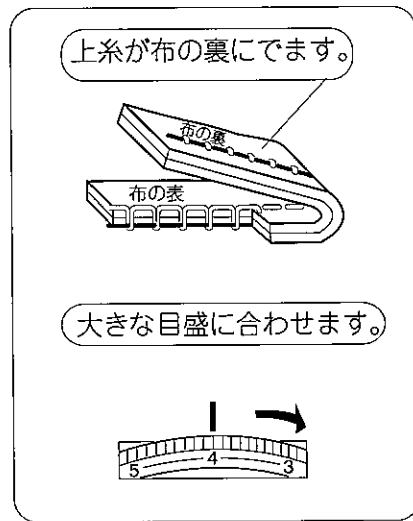
●糸調子の合わせ方

★自動糸調子

このミシンは、糸調子ダイヤルを「オート」に合わせると、普通縫いのときにバランスよく縫える糸調子に自動セットされます。

◎上糸と下糸が布のほぼ中央で、まじわります。

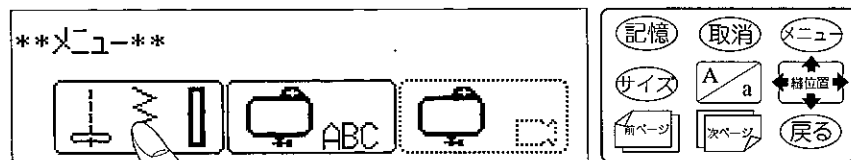
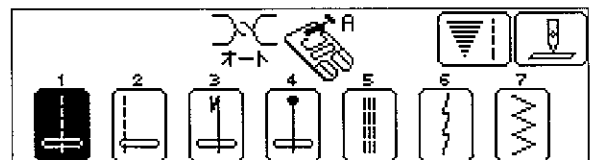
◎ジグザグ縫いの糸調子は、布の裏側に上糸が少し出るくらいに調節します。

★マニュアル糸調子

糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないとき、または、特殊な縫いで糸調子を合わせるときに調節します。

【上糸が強すぎるとき】

【上糸が弱すぎるとき】

◎糸調子が正しく調整されていないと、縫い目がきたなくなり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

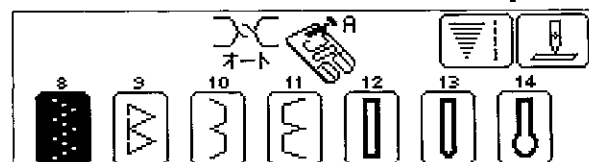
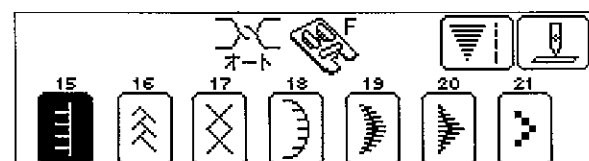
●模様の選び方（実用縫い）

★画面の切替え

① 電源スイッチを入れると・・・

メニュー

② キーを押すと

※直線No．1が選ばれています。

③ キーを押すと

④ キーを押すと

⑤ キーを押すと

（ひとつ前の画面を表示させます。）

⑥ キーを押すと

※ 戻る または メニュー キーを押すと・・・（メニュー画面にもどります。）

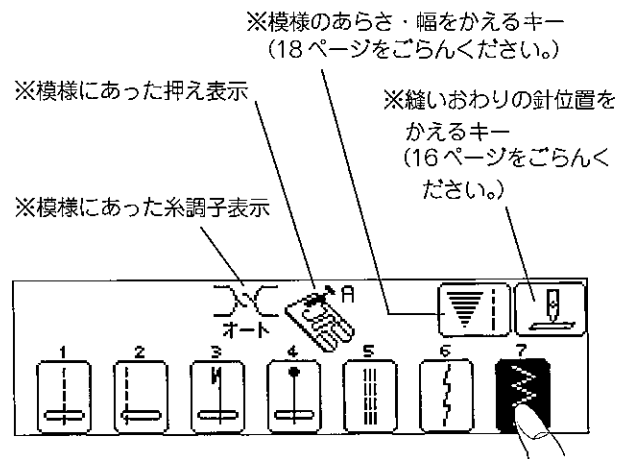
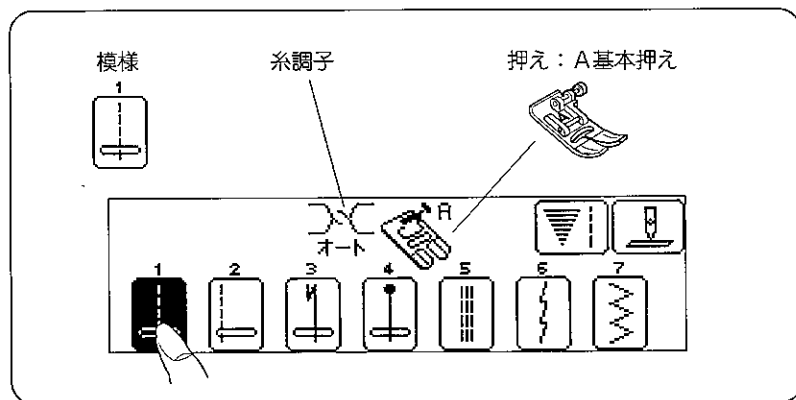
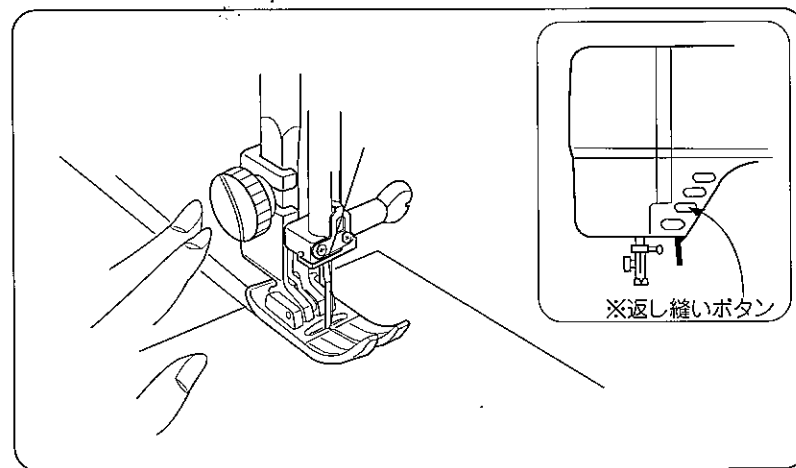
★模様を選ぶとき

◎模様表示の中央を押します。

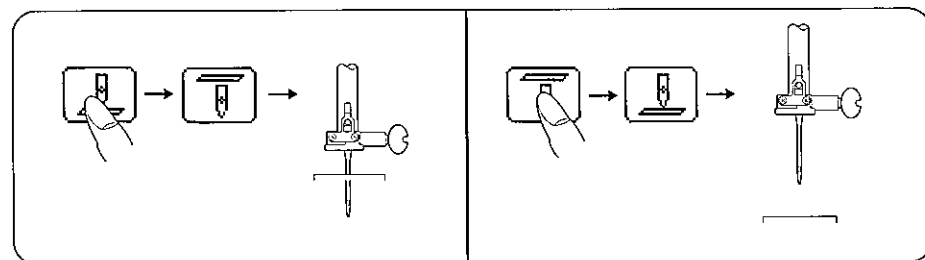
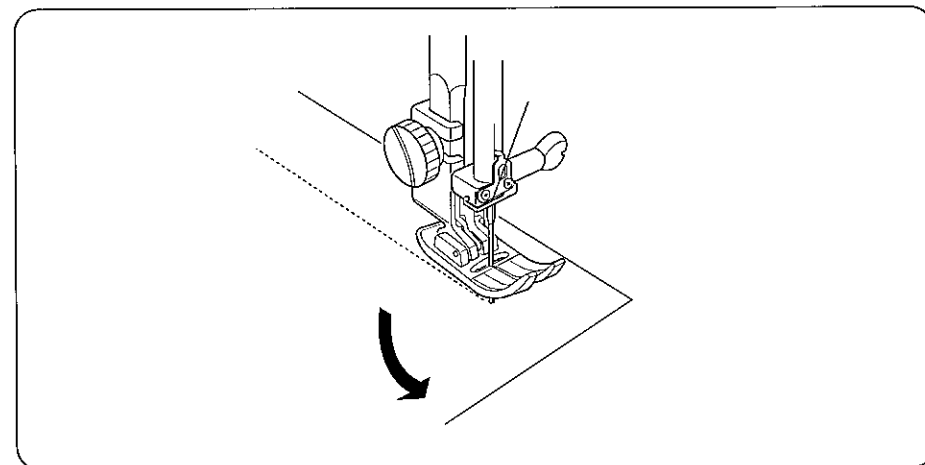
●直線縫い

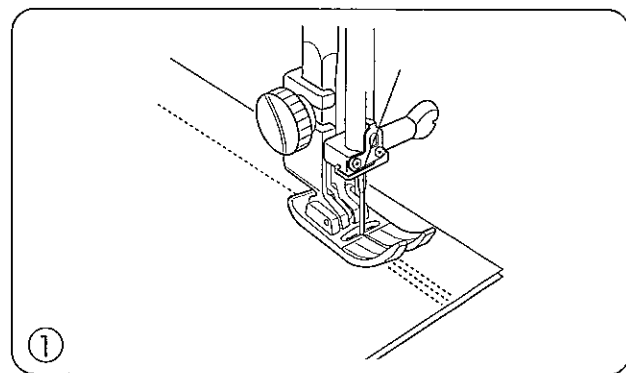
★上下停針キーの使い方

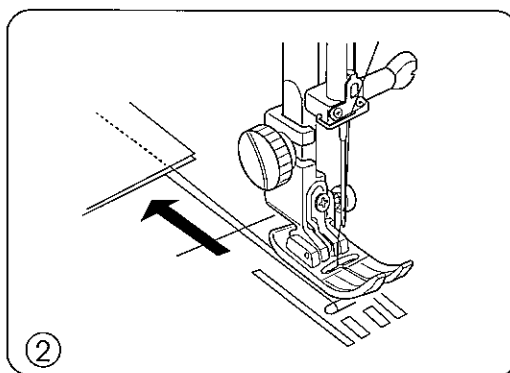
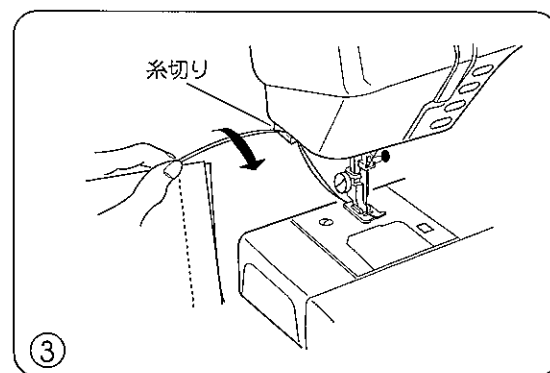
※ミシンを止めたとき、
針が下がった位置にしたいとき

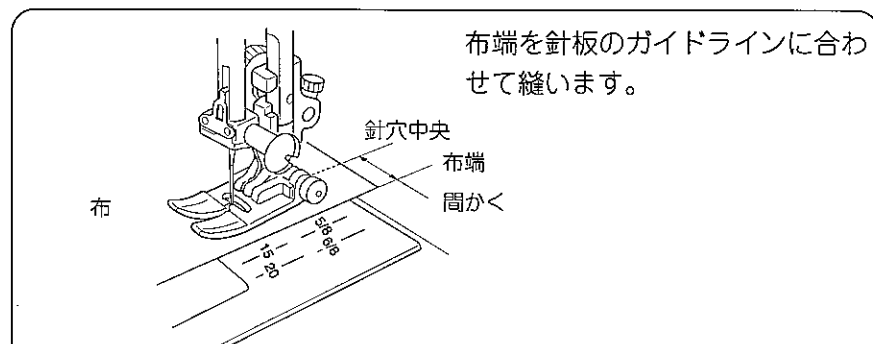
※ミシンを止めたとき、
針があがった位置にしたいとき

★縫いはじめ

①糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわして、縫いはじめの位置に針をさします。
②押えをさげて、ゆっくり縫いはじめます。

※縫いはじめは、返し縫いボタンを押しながら返し縫いをする方法と、
自動返し縫いのついた模様 を使う方法とがあります。(19ページ参照)

★縫い方向をかえるには

①針を布にさしたまま、押えをあげ縫い方向をかえます。

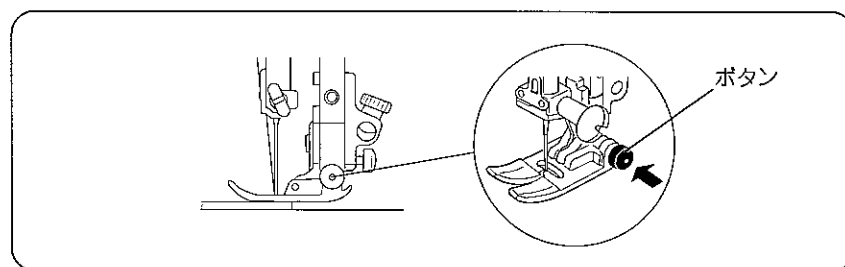
★縫いおわりの返し縫い

①返し縫いボタンを押しながら数針返し縫いをします。

※模様 のときは、返し縫いボタンを１度押すだけで、自動的に返し縫いをします。

②押えをあげて、布を向こう側に、引き出します。

①布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

★針板ガイドラインの利用

布端を針板のガイドラインに合わせて縫います。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく (cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

※数字は、針穴中央（◯）から布端までの間かくです。

★厚手の布端の縫いはじめ

①縫いはじめの位置に針をさし、基本押えの黒色ボタンを押しこみます。
②ボタンを押したままで押えをさげます。
③ボタンから手をはなし、縫いはじめます。
※ 端縫いの時には、模様 を選びます。

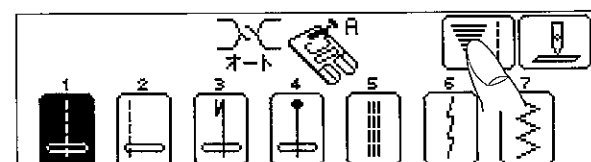
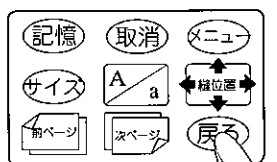
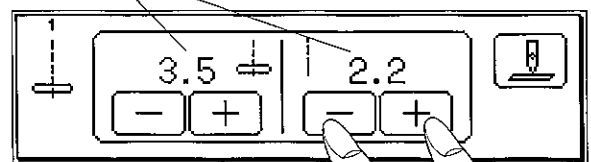
★縫い目のあらさをかえるとき

（もとの画面に戻ります。）

※自動セットされている数値です。

キーを押します

3.5　2.2

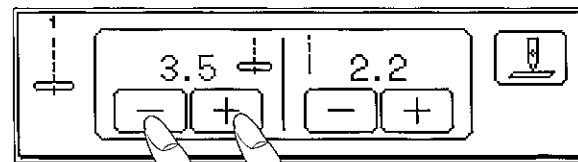
記憶　取消　メニュー　サイズ　縫位置　前ページ　次ページ　戻る

キーを押すと

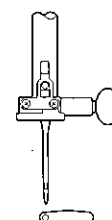
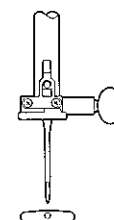
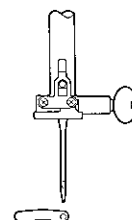
【縫い目が細くなります】
（数値が小さくなります。）

【縫い目があらくなります】
（数値が大さくなります。）

※［－］［＋］キーを押しつづけると、表示される数値が速くかわります。
※返し縫いの縫い目のあらさは、2.5mm以上にはなりません。

★直線縫いの針落ち位置をかえるとき

3.5　2.2

【キーを押すと針が左へ移動します】　【キーを押すと針が右へ移動します】

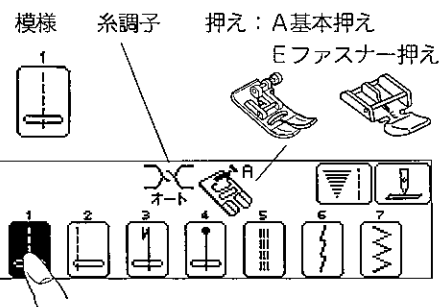
（数値）0.0　3.5　7.0

（針落ち左）　（針落ち中）　（針落ち右）

◎針落ち位置をかえられる模様は、

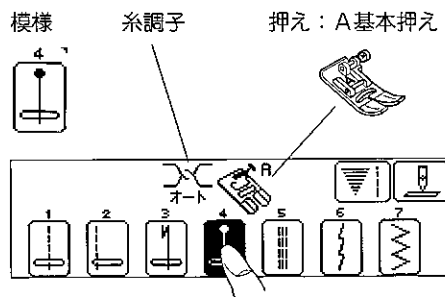
です。

●直線状の縫い目いろいろ

【地縫い】

模様　糸調子　押え：A基本押え　Eファスナー押え

地縫いや、ファスナーつけなどに使います。

【自動止め縫い】

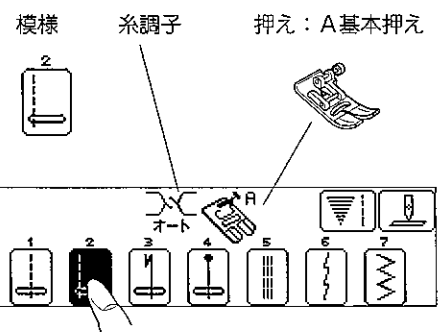
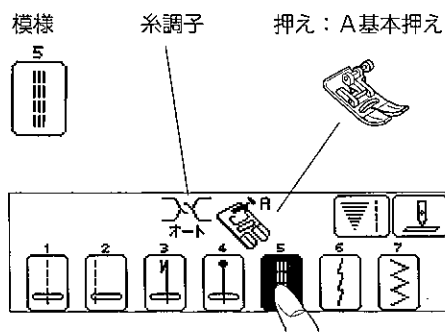
模様　糸調子　押え：A基本押え

目立たない止め縫いを自動的に行うときに使います。
（縫いおわりにきたら、返し縫いボタン を1度押します。
数針止め縫いをして自動的に止まります。）

【地縫い】

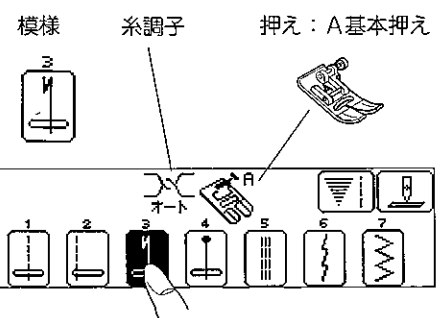
模様　糸調子　押え：A基本押え

端縫いに使います。

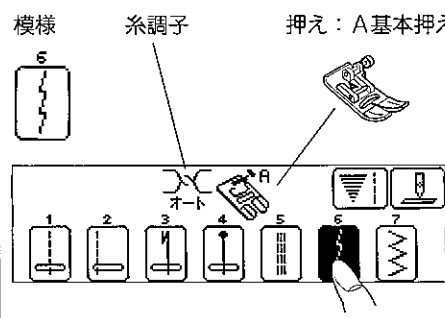
【三重縫い】

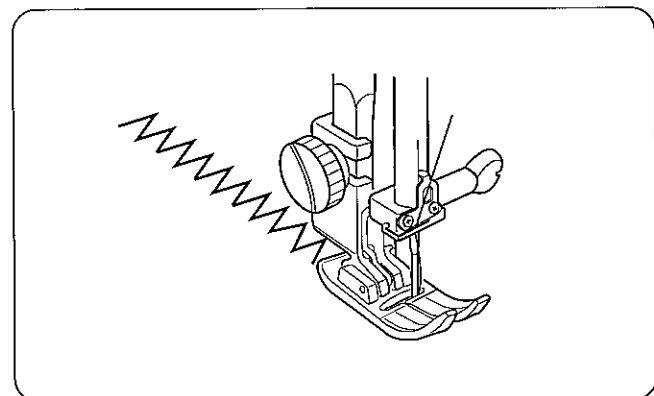
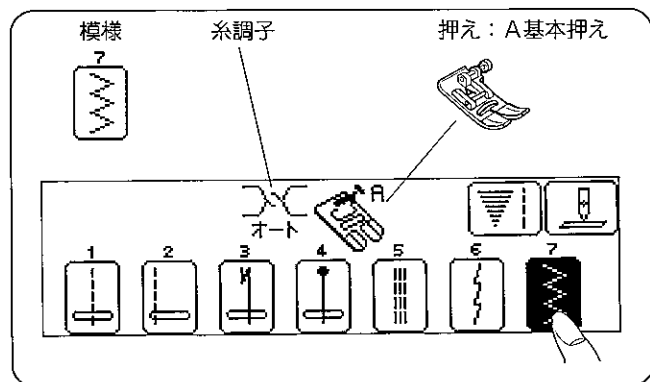
模様　糸調子　押え：A基本押え

伸縮性のある強い縫い目なので、補強縫いに便利です。

【自動返し縫い】

模様　糸調子　押え：A基本押え

しっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使います。
（縫いおわりにきたら、返し縫いボタン を1度押します。
数針返し縫いをしてから自動的に止まります。）

【伸縮縫い】

模様　糸調子　押え：A基本押え

布が伸びても、糸が切れにくい、伸縮性のある縫い目です。
また、直線状なので縫いしろを割ることができ、ニット、トリコットなどの縫い合わせに便利です。

●ジグザグ縫い

伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコット など）には接着芯を張るときれいに縫えます。

★縫い目の幅・あらさをかえるとき

オート

（もとの画面に戻ります。）

※自動セットされている数値です。

キーを押します

5.0　2.0

記憶　取消　メニュー
サイズ　A/a　縫位置
前ページ　次ページ　戻る

キーを押すと

キーを押すと

あらさ

幅

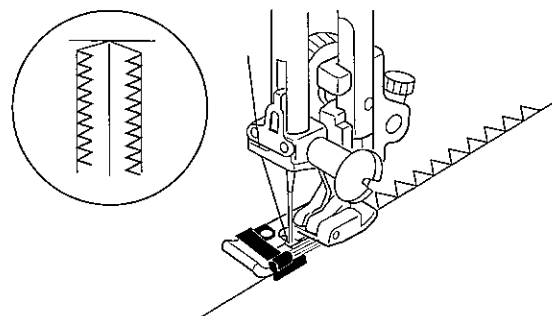
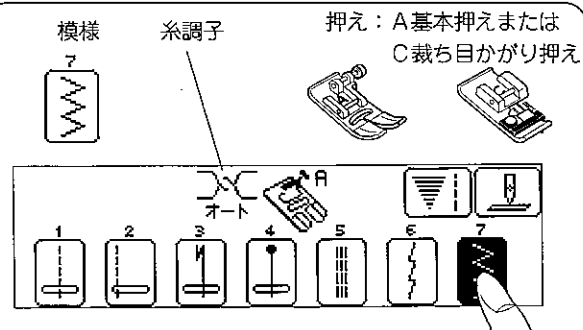
幅がせまく なります
（数値が小さくなります。）

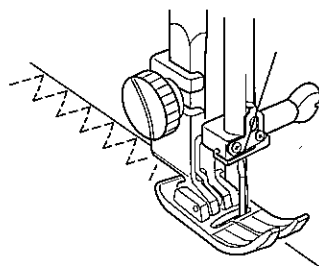
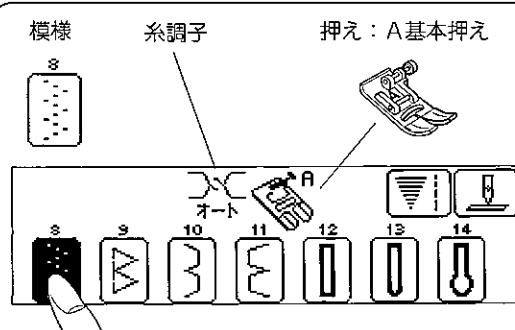
幅がひろく なります
（数値が大きくなります。）

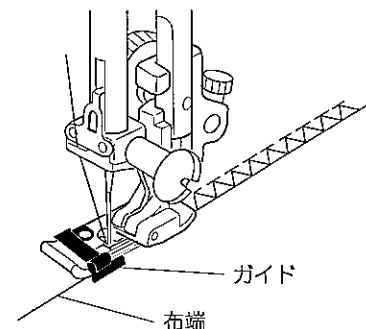
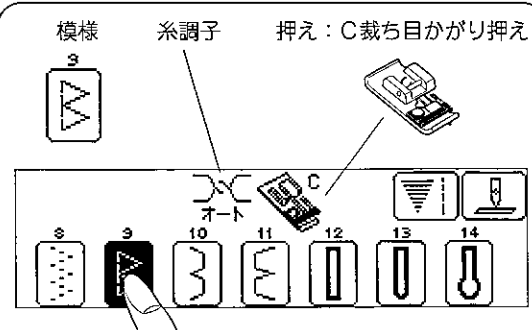
縫い目が細か くなります
（数値が小さくなります。）

縫い目があら くなります
（数値が大きくなります。）

●かがり縫い

★ジグザグ裁ち目かがり

布端のほつれ止めとして一般的に利用します。

★トリコット縫い裁ち目かがり

ニットなど伸縮性のある布のほつれ止め、布端の返り防止などに利用します。
布端の織り糸を1～2本残すようにして縫います。

★かがり縫い

地縫いをかねたかがり縫いに利用します。

布端を押えのガイドにあてて縫います。

●オートボタンホール

★ボタンホールの種類

◎スクエア（両止め）

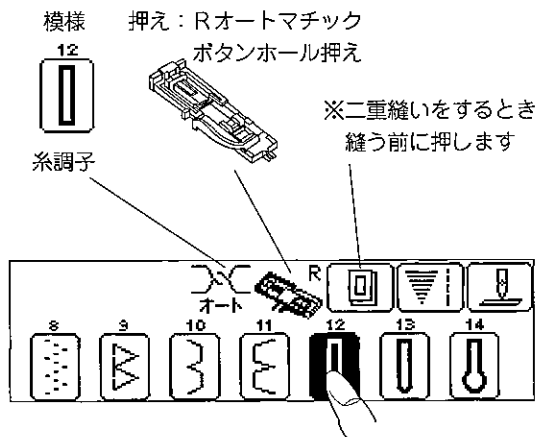
・・・シャツ・ブラウスなどの穴かがりに使います。

◎ラウンド（片止め）

・・・シャツ・ブラウスなどの薄い素材の穴かがりに使います。

◎キーホール（鳩目穴）

・・・ジャケットなどの厚い素材の穴かがりに使います。

★縫う前の準備

◎ボタンホールの長さは、使用するボタンをRオートマチックボタンホール押えのボタン受け台にはさみこむと自動的に決まります。

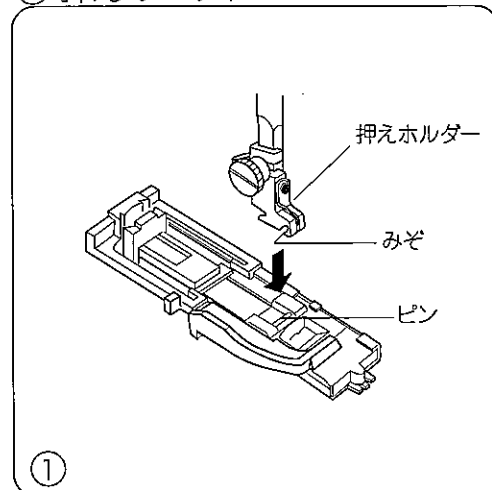
◎ボタンの直径が2.5cmまで、ボタンホールができます。

◎コートなどの幅の広いボタンホールをするときは24ページをごらんください。

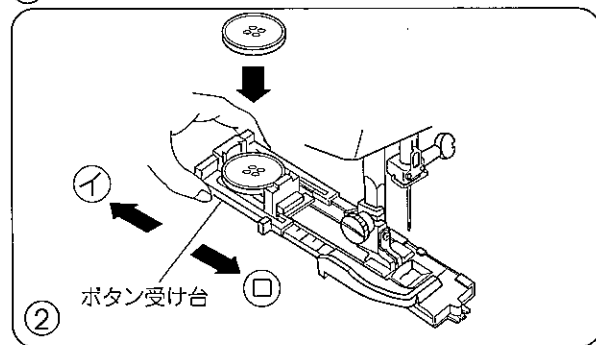
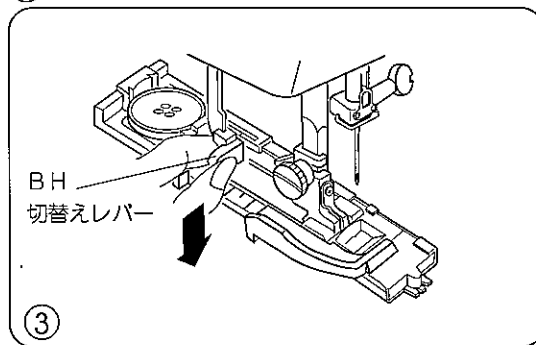
◎縫うものと同じ布で試し縫いをして、セットを確かめましょう。

◎伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を張ってください。

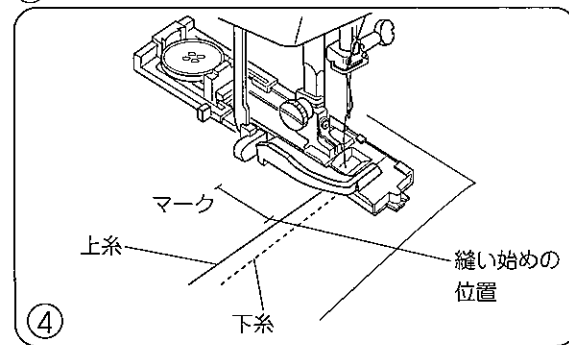
◎二重縫いをするときは、送り詰まりがない様に、縫い目あらさを大きめにセットします。

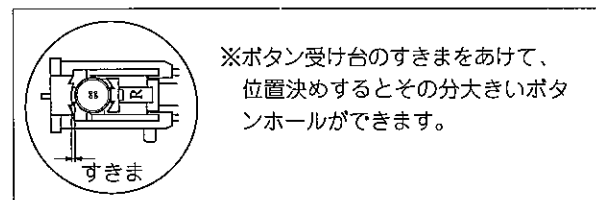
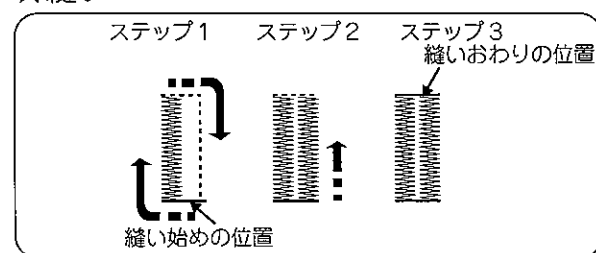
① 押えのセット

押えホルダーのみぞと、押えのピンを合わせ押え上げをさげます。

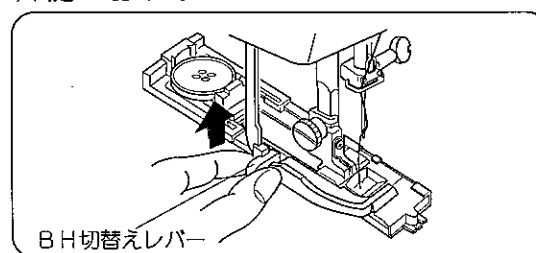
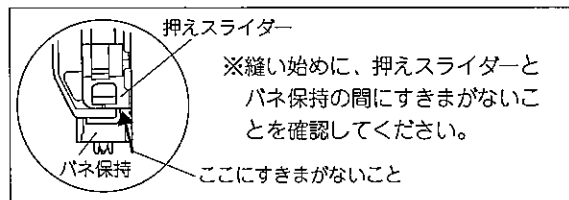
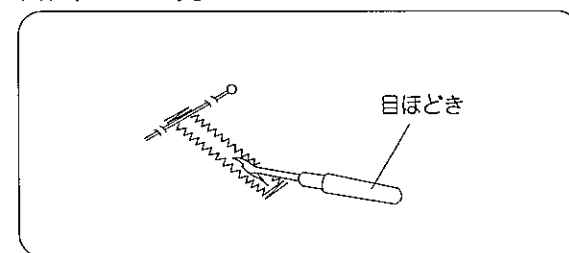
② ボタンのセット

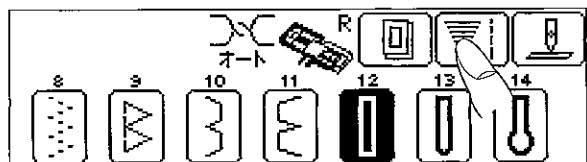
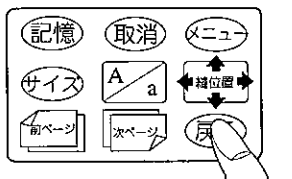
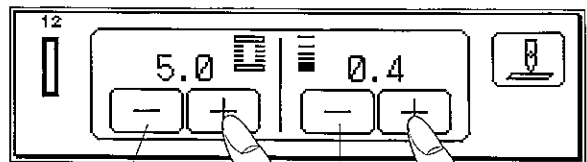
ボタン受け台をイ方向に引き、ボタンをのせてロ方向に戻しはさみます。

※ボタン受け台のすきまをあけて、位置決めするとその分大きいボタンホールができます。

③ ＢＨ切替えレバーのセット

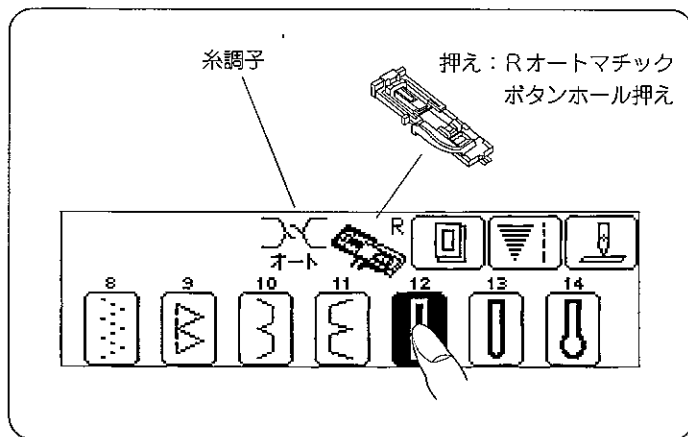
ＢＨ切替えレバーを止まるまでいっぱいに引きさげます。

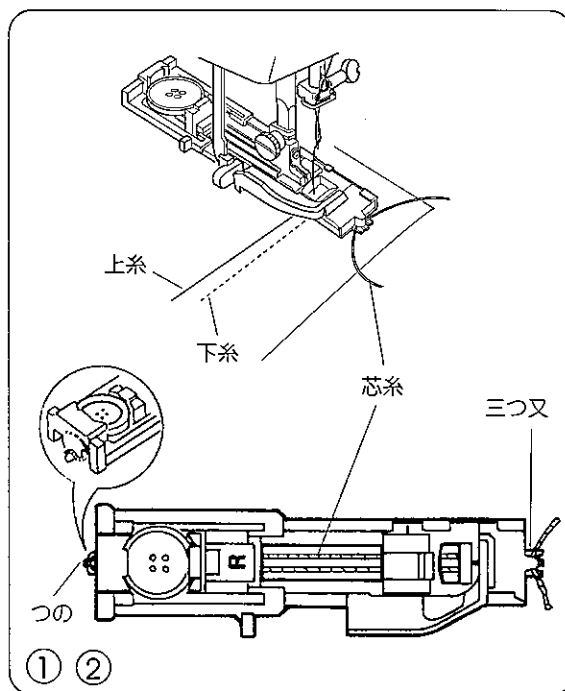
④上糸、下糸のセット

押えをあげて上糸を押えの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
布を入れ、縫い始めの位置に針をさして、押えをさげます。

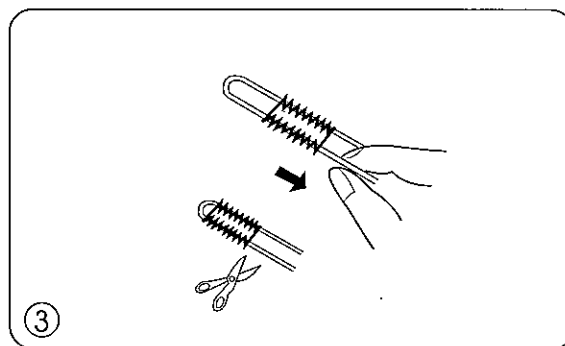
※縫い始めに、押えスライダーとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。

★縫い

自動的に止まるまで縫います。
※縫っていく順序は、
ステップ１. かんぬきと左側のボタンホール縫いをします。
ステップ２. 右側のボタンホール縫いをします。
ステップ３. かんぬきと止め縫いをして自動的に止まります。

★縫いおわり

ＢＨ切替えレバーを止まるまでいっぱいに押し上げて戻します。

★穴のあけ方

かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切りひらきます。

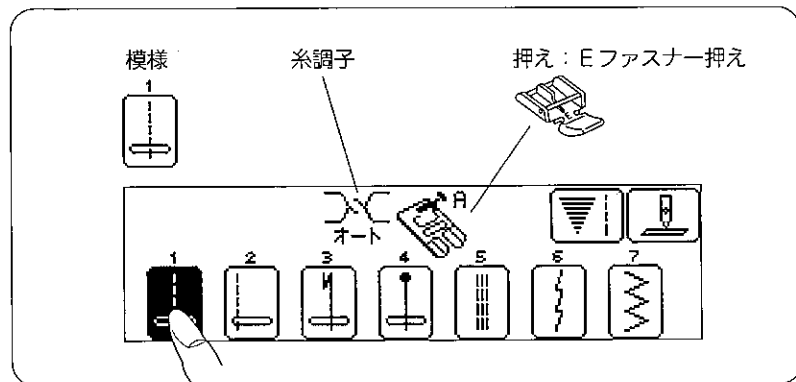
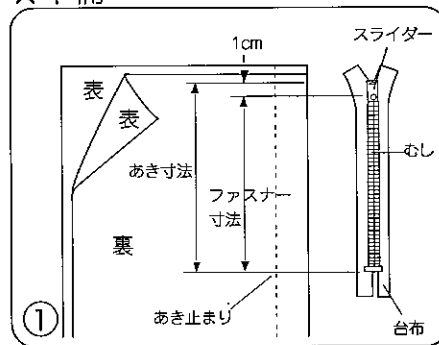
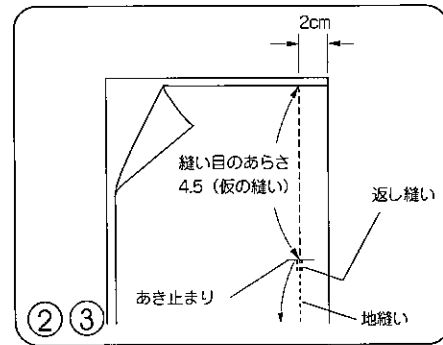
★縫い目の幅とあらさをかえるとき

※素材や縫い糸に合わせて縫い目のあらさを調節して縫います。
(細かい縫い目・・薄い布、あらい縫い目・・厚い布、を目安にしてください。)

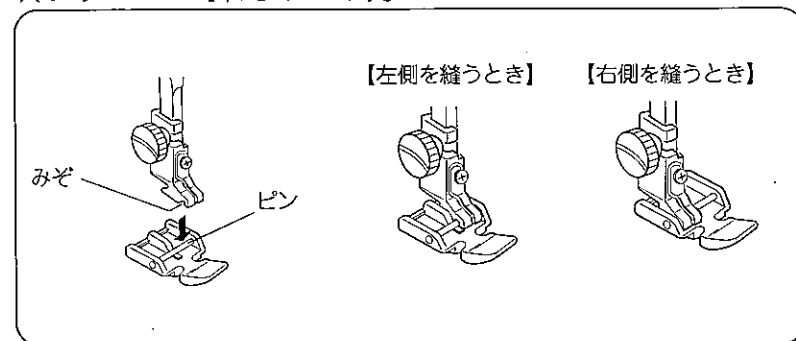
●芯入りオートボタンホール

◎縫い方は、オートボタンホール縫いと同じです。
（22-24ページをごらんください。）

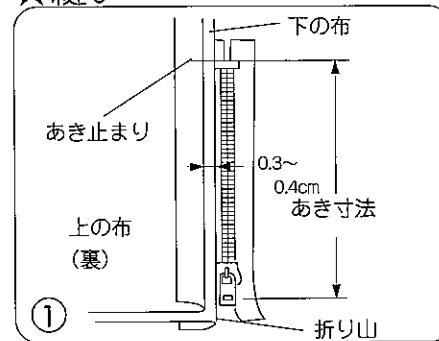
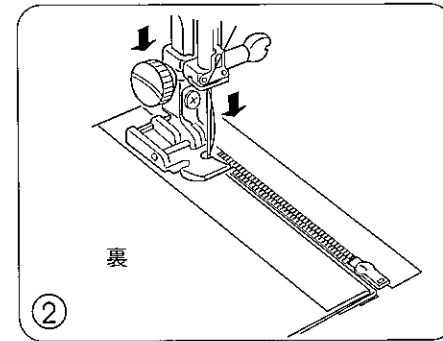
◎縫い目の幅は、芯糸に合わせてセットします。

①芯糸の輪を押えの後ろ側にあるつのに掛け、押えの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ叉にはさみます。

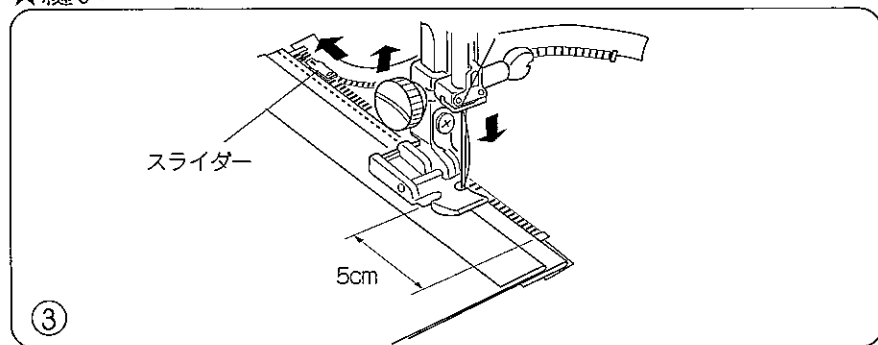
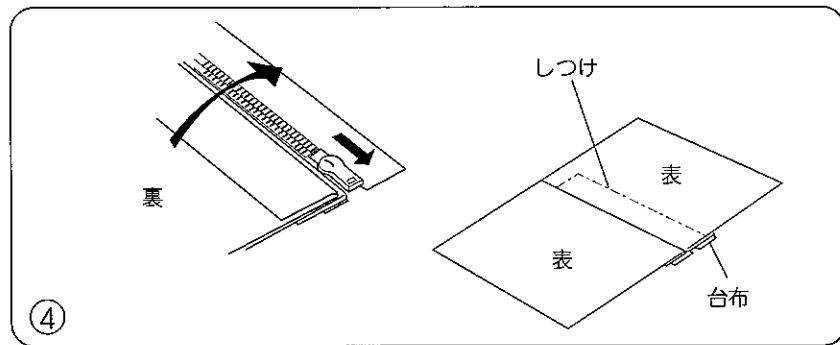
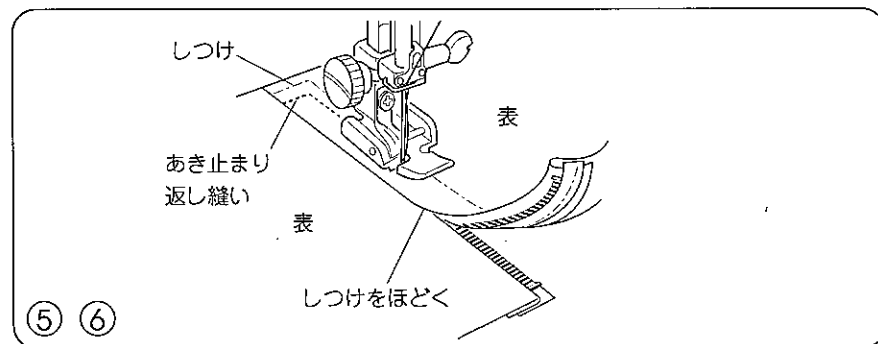
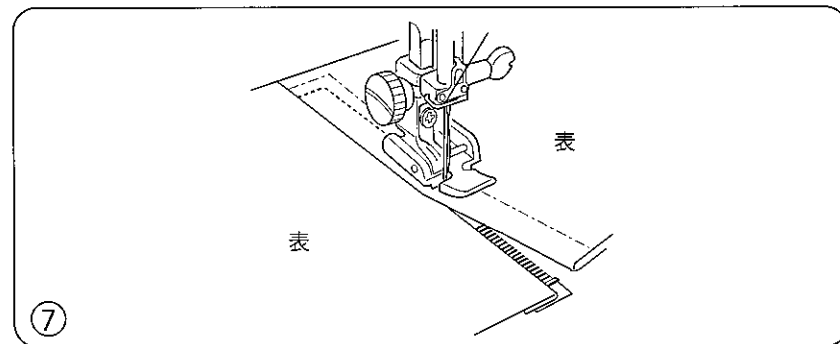
②オートボタンホール手順と同じように縫います。

③左側の芯糸を引いて、たるみをなくし余分な糸を切ります。

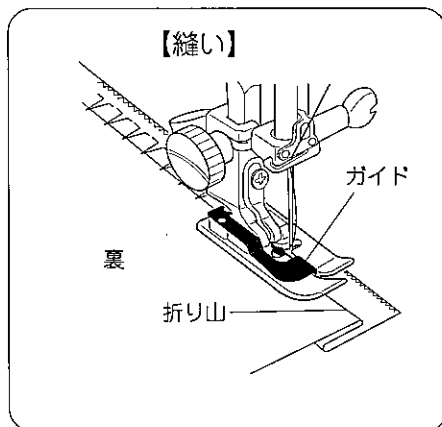
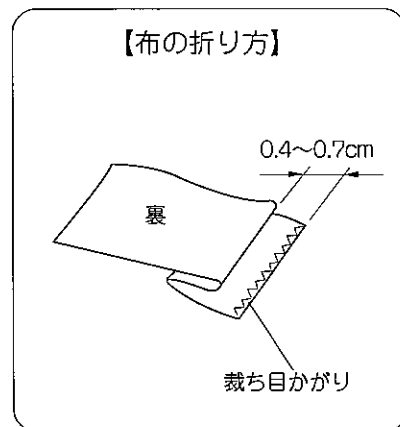
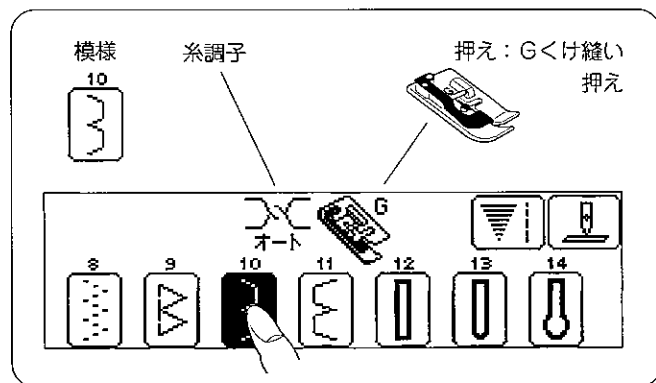
※穴のあけ方は、23ページをごらんください。

●ファスナーつけ

★準備

【ファスナーのあき寸法をたしかめます】
①あき寸法はファスナー寸法に1cmプラスした寸法です。

【仮の縫いのしつけと地縫いをします】
②布を中表に合わせて、あき止まりまで地縫いをします。
③あき部分は、縫い目のあらさ4.5で縫います。

★ファスナー押えのつけ方

◎左側を縫うときは、押えホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。
◎右側を縫うときは、左側にセットします。

★縫い

①縫いしろをわり、下の布の縫いしろを0.3～0.4cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

②押えを右側にセットして、むしのきわに押えの端を当てて、縫います。

★縫い

③ファスナーの端から5cm位手前でミシンを止め、針を布にさします。押えをあげてスライダーを向こう側にずらし、押えをさげて残りの部分を縫います。

④スライダーをとじ、つまみの金具を上に倒し、上の布をファスナーの上にかぶせます。
かぶせた布と台布をしつけで止めます。

⑤押えホルダーをファスナー押えの左側につけかえ、上の布のあき止まりを返し縫いし、むしのきわに押えの端を当てて縫います。
⑥ファスナーの上側を5cmくらい残したところでとめ、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押えをあげて、しつけ糸をほどきます。

⑦スライダーを押えの向こう側にずらし、押えをさげて残りの部分を縫います。

●くけ縫い（まつり縫い）

ガイドを折り山に合わせ、針が折り山からはずれないように縫い目の幅調節キーで針落ち位置を調節して縫います。

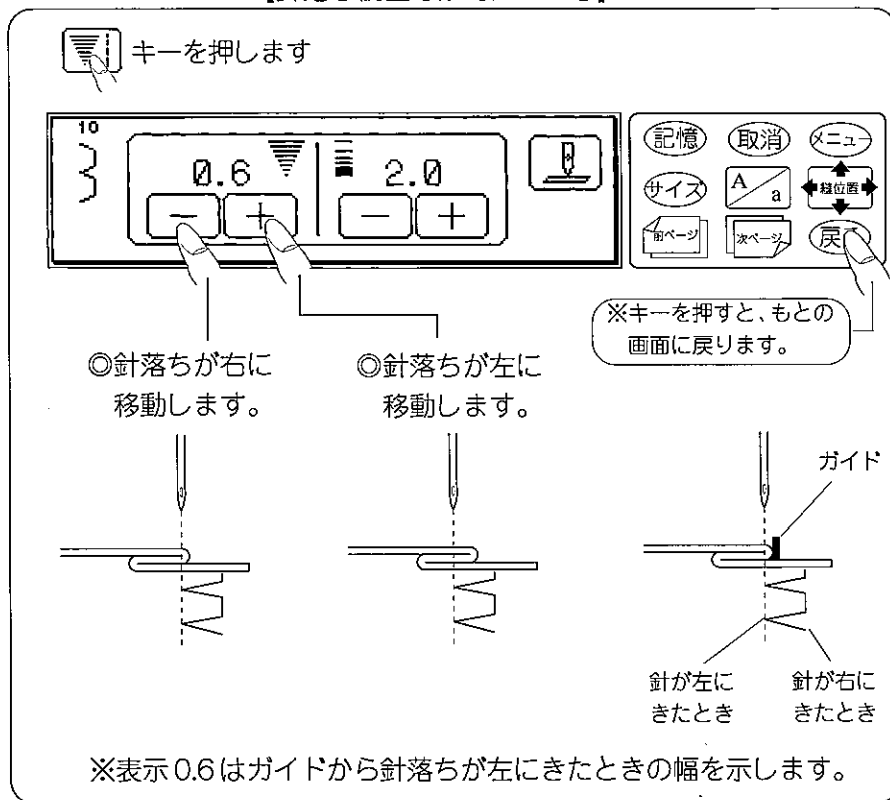
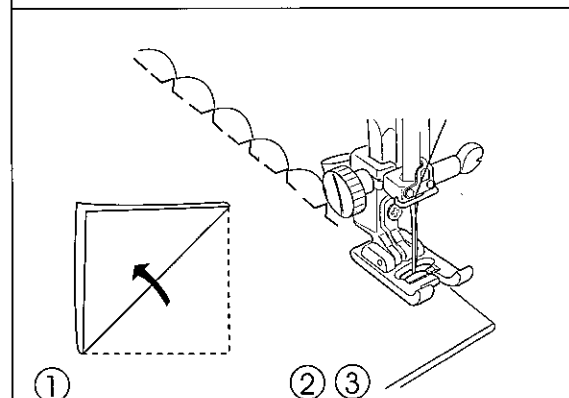
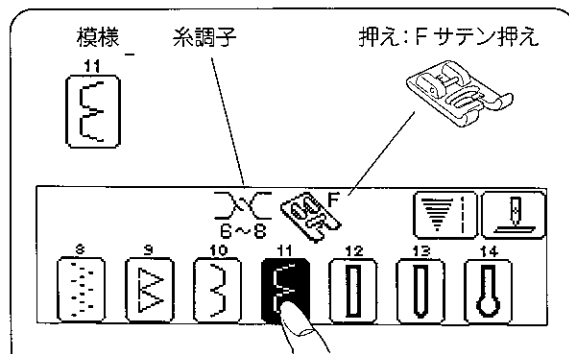
【針落ち位置をかえたいとき】

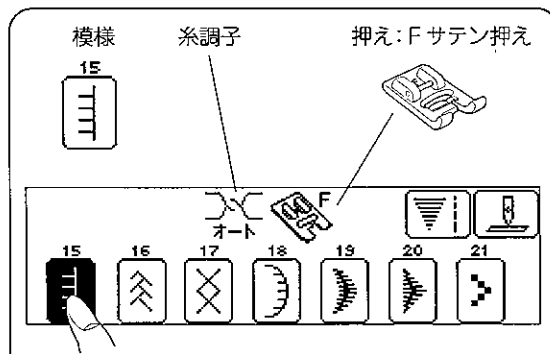
●シェルタック

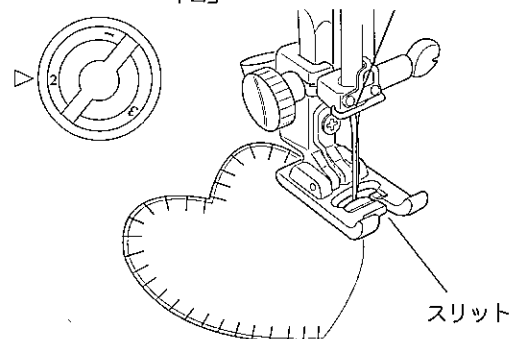
模様　糸調子　押え：Fサテン押え

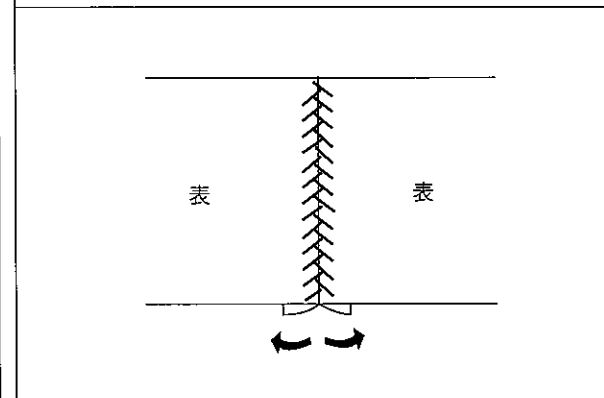
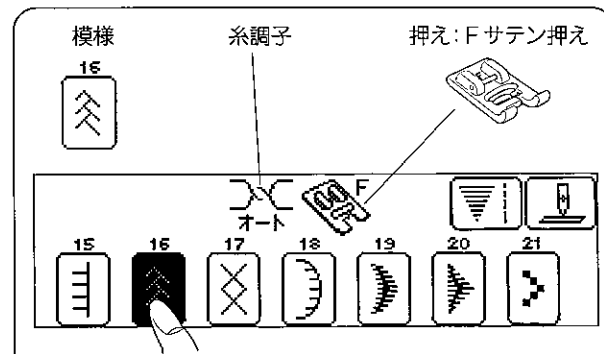
11

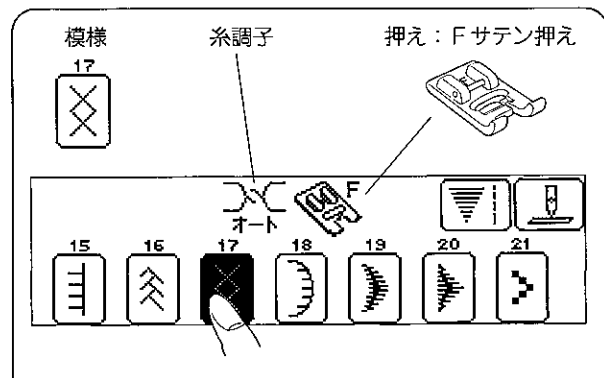
6~8

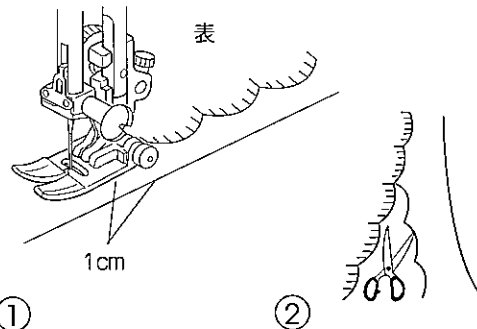
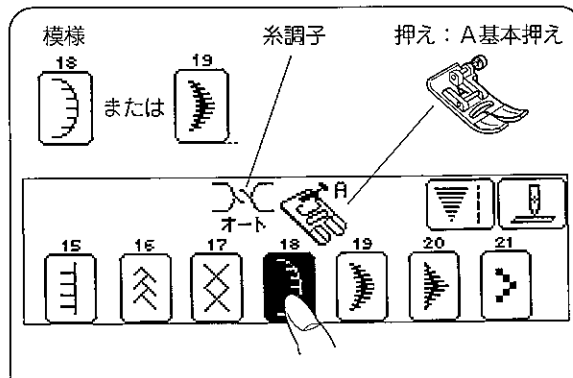
8 9 10 11 12 13 14

①うす手の布をバイアスに2つ折りにします。
②針が右にきたとき、布の折り山のきわにおりるようにして縫います。
③布をひらいて、アイロンで山を片側に倒します。

※糸調子は、試し縫いをして、シェルタックの山がきれいに出るように調整します。

●アップリケ

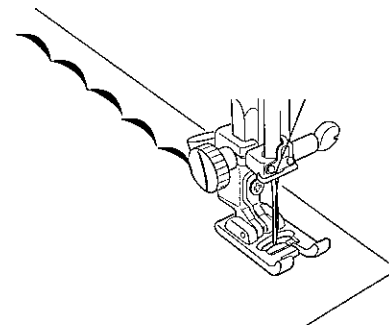
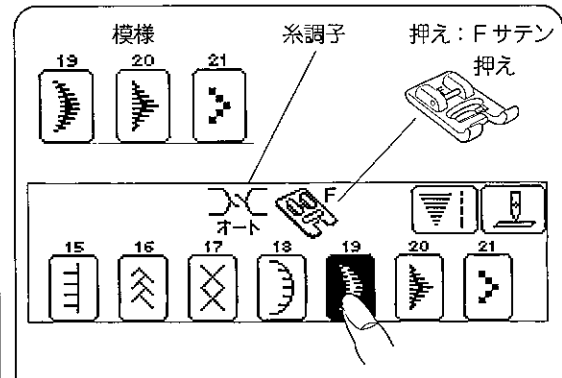
押え圧ダイヤル「2」

アップリケ布を糊づけするか、しつけで止めます。
アップリケする布の輪郭をF押えのスリットに合わせて縫います。
※急角度のところで向きをかえるときは、針をアップリケ布の外側にさしたままでかえると、きれいに仕上がります。
※縫いおわったら、押え圧ダイヤルを「3」に戻します。

●パッチワーク

布を中表に合わせ、地縫いをして、縫いしろを割ります。
布の表から、地縫いの線を中心にして縫います。

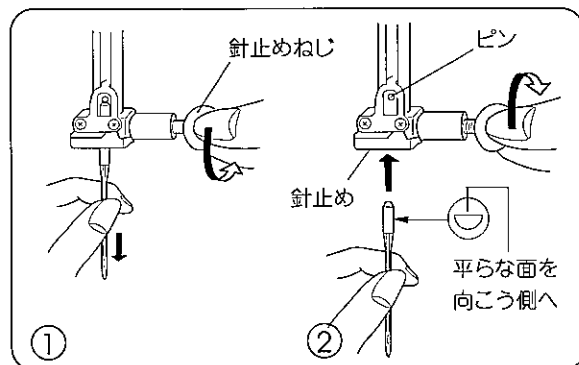
●クロスステッチ

刺しゅうによくつかわれるクロスステッチができます。

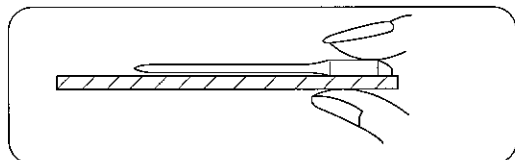
●スカラップ

①布を表から、布端を1cmくらい残して縫います。

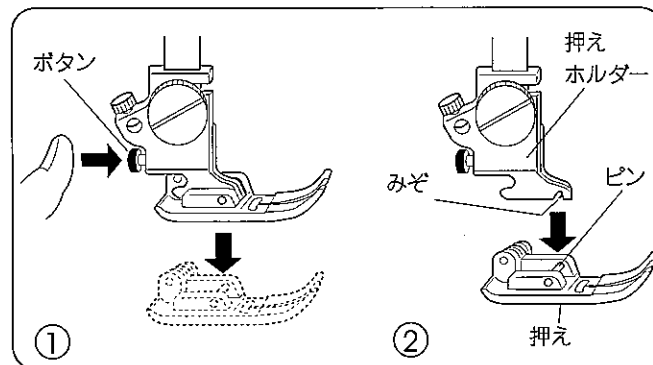
②糸を切らないように、外側の布を切り落とします。

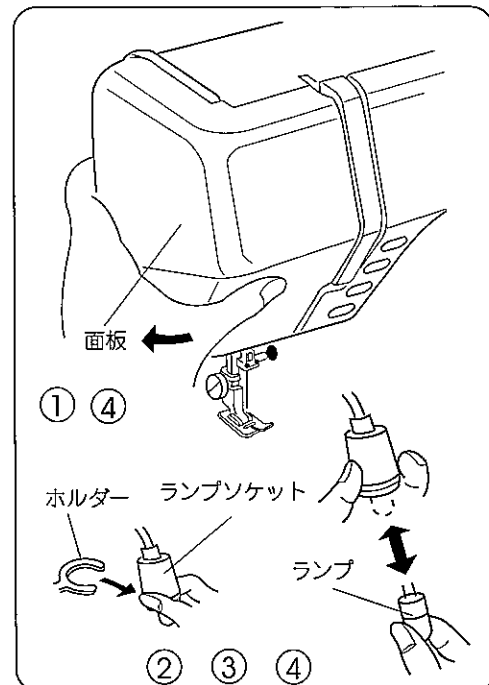
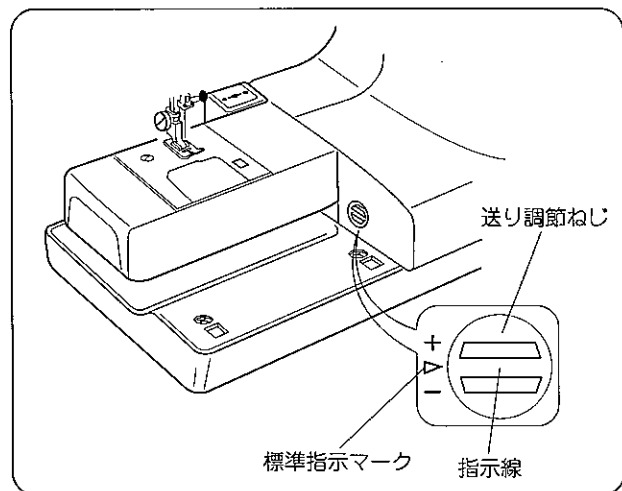
●飾り縫い

布が縮むときは、下に紙を敷いて縫うと、きれいに仕上がります。

●針・押え・ランプの交換

★針の交換

※針をあげ、押え上げをさげます。
※電源スイッチを切ります。
【取外し】
①針止めねじを手前にまわしてゆるめ、針をはずします。
【取付け】
②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまでさしこみ針止めねじをかたくしめます。

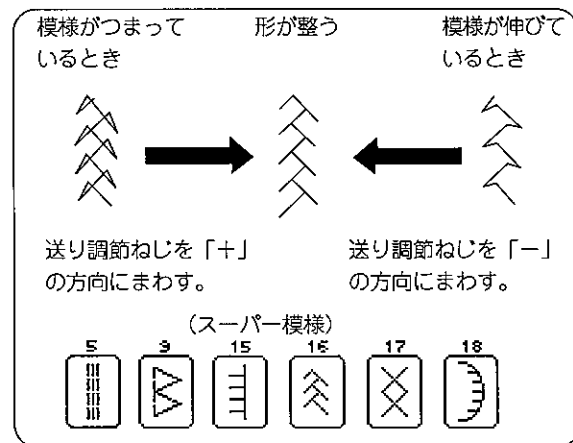
「針の調べ方」

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

★押えの交換

※針をあげ、押え上げをあげます。
※電源スイッチを切ります。
【取外し】
①押えホルダーの赤色ボタンを押して、はずします。
【取付け】
②押えのピンを押えホルダーのみぞの真下において、押え上げをおろします。

★ランプの交換

※電源スイッチを切ります。
※ランプが冷えてから行ってください。
【取外し】
①面板をあけます。
②ランプソケットをホルダーからはずして、ランプを引き抜きます。
【取付け】
③ランプのピンをソケットの穴に合わせながら、差し込みます。
④ランプソケットをホルダー取付け、面板を閉めます。

●模様の形の整え方

布の種類、厚さ、縫いの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際に縫うときと同じ条件で試し縫いをしながら、送り調節ねじでつぎのようにして調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が、模様を正しく縫える目安の位置です。

★スーパー模様の形の整え方

●刺しゅう縫い

【刺しゅうをする前に】

★芯地

きれいに仕上げるには、芯地を使うときれいに仕上がります。

[刺しゅう部分の布の裏側に芯を張る]

フエルトやしっかりした厚手の布なら芯を張らずにそのまま縫えます。薄い布や化繊合繊の布、またはジャージのような伸縮性のある布の場合は、不織布の芯地を張ります。

芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。接着しないタイプの芯地はアイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうする時に使って下さい。

布がしっかりしている場合には芯地の代わりに布の下に薄紙を敷いてもよいでしょう。接着芯は布の厚さに合わせて選びます。厚手の布の場合は、ややそれより薄い芯地がよいでしょう。

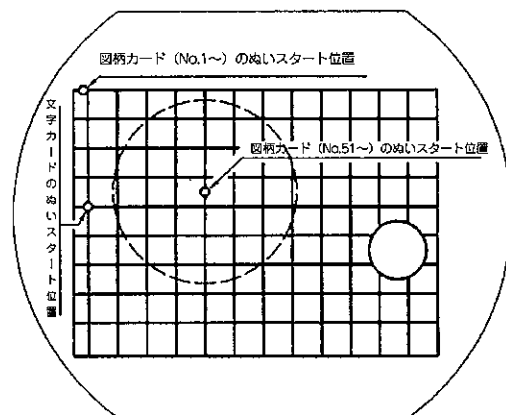
【注意】

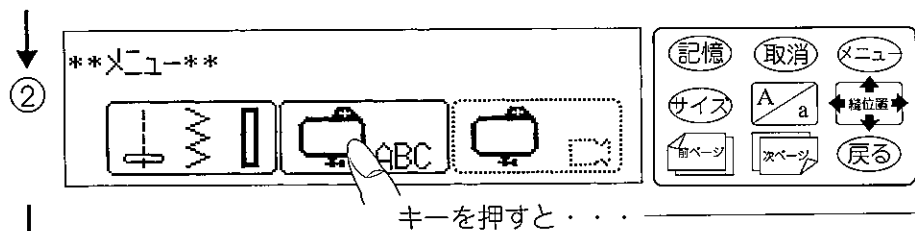
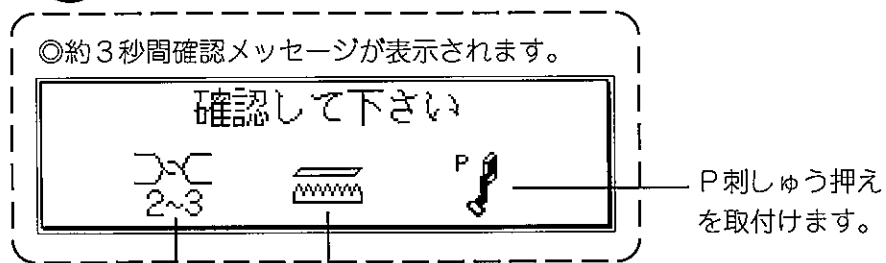
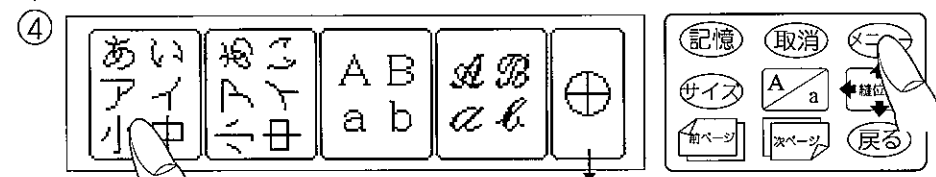
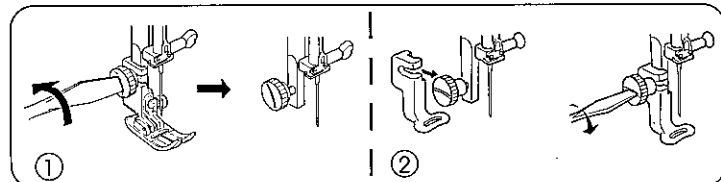
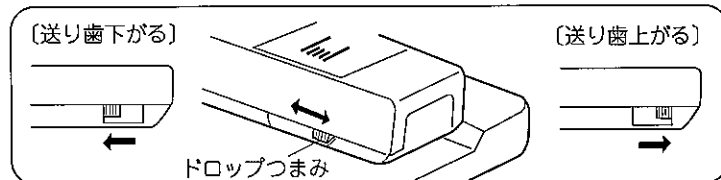
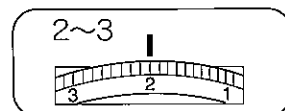
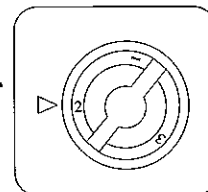
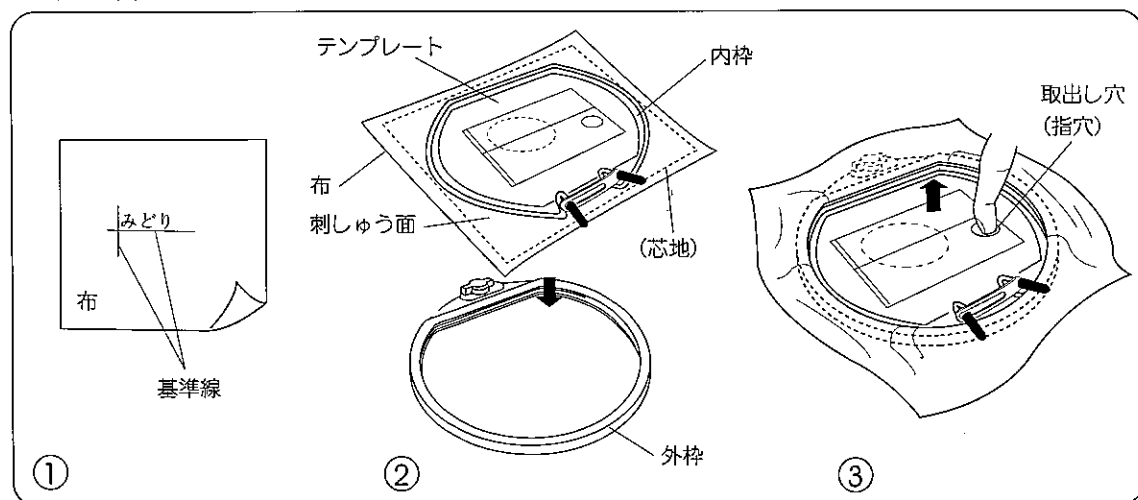
※刺しゅう縫いでは、フットコントローラー（別売品）は使用できません。
スタート・ストップボタンを使用してください。

★布と針と糸の関係

布	針	糸
●うすい布	●11番 ●ブルー針	●ミシン刺しゅう糸 （ジャノメテレーザ　50番） ●絹糸　50番〜100番 ●化繊糸　50番〜100番
●普通の布		
●ニット地		
●厚い布	●14番	

※刺しゅう縫いの下糸には、専用の「テレーザ下糸用スパン糸90番」をおすすめします。

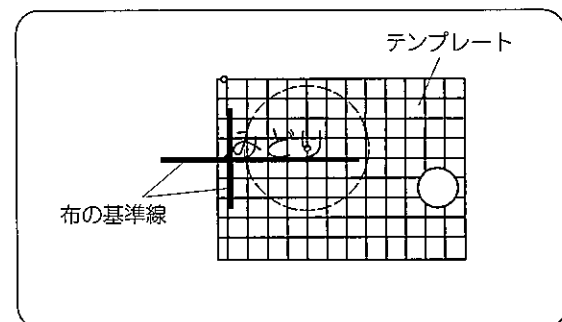
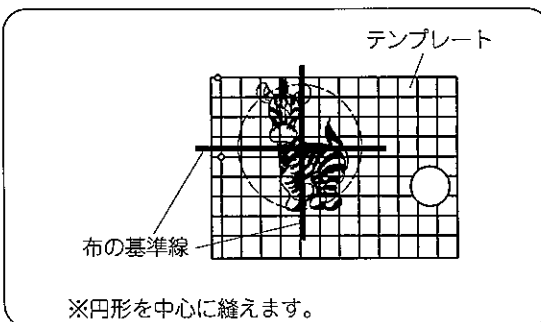
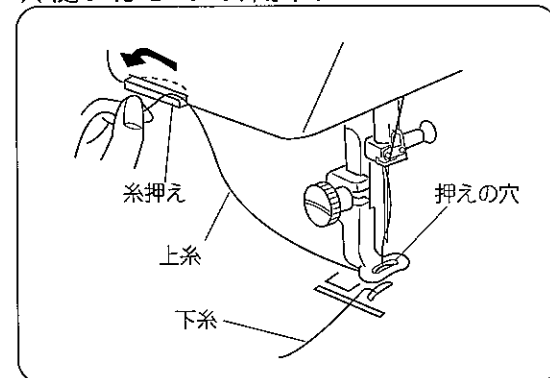
★テンプレート

テンプレートの使い方は、35ページをごらんください。

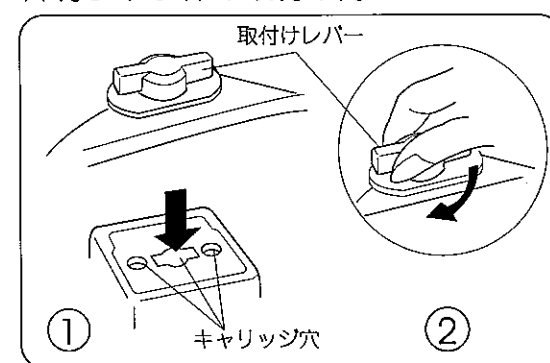
★操作をおぼえましょう
① 電源スイッチを入れると・・・
② **メニュー**
ABC
記憶
取消
メニュー
サイズ
A a
縫位置
前ページ
次ページ
戻る
キーを押すと・・・
キャリッジが移動します。
キャリッジ
【注意】
※後側10cm以内に、物を置かないでください。
※電源を切る前には必ず メニュー キーを押して、メニュー画面に戻しキャリッジを収納してください。
※キャリッジの移動中に、はずみ車を手で回さないでください。
③ 【注意】
『刺しゅう縫いのときには、必ず下記メッセージの確認をしてください。』
◎約３秒間確認メッセージが表示されます。
確認して下さい
2~3
P
P刺しゅう押えを取付けます。
送り歯をさげます。
糸調子を２~３に合わせます。
★P刺しゅう押えの取付け方（押えホルダーの外し方）
①
②
①止めねじをゆるめて押えホルダーを外します。
②刺しゅう押えを取付け止めねじをしっかりしめます。
★送り歯のさげ方
〔送り歯下がる〕
〔送り歯上がる〕
ドロップつまみ
ドロップつまみを移動させます。
2~3
3
2
1
※押え圧ダイヤル
「２」
（縫いおわったら、ダイヤルを「3」に戻します。）
④
あい
アイ
小中
A B
a b
記憶
取消
メニュー
サイズ
A a
前ページ
次ページ
戻る
日本語が選べます。
アルファベットが選べます。
※オプション用
※ メニュー または 戻る キーを押すとメニュー画面に戻ります。

★布の張り方

①布の刺しゅうしたい位置にチャコで基準線のしるしをつけます。

②布の上にテンプレートと内枠をのせ、基準線を合わせて外枠にセットします。

③取出し穴に指を入れて、テンプレートを取出します。

◎基準線の合わせる位置

【文字刺しゅうのとき】

【大型模様刺しゅうのとき】

★縫いはじめの糸掛け

刺しゅう押えの穴の上から下に向けて上糸を通して、糸端を糸押えに手前から掛けます。
(2〜3cm向こう側へ出します。)

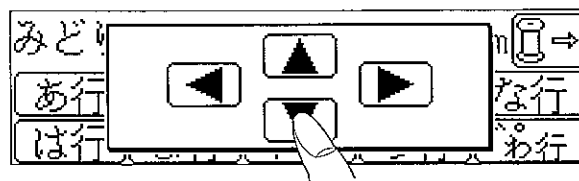
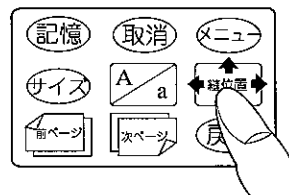
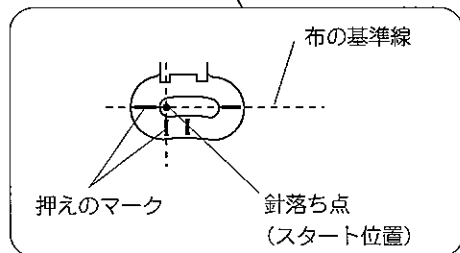
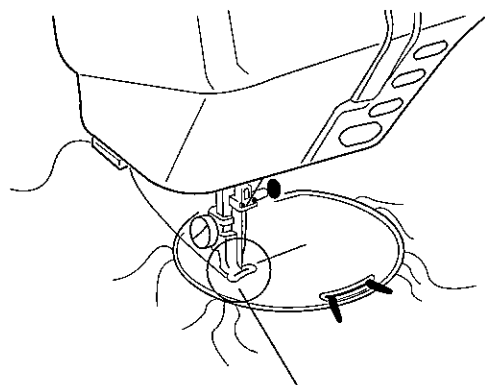
★刺しゅう枠の取付け方

①取付けレバーを横にしてキャリッジの穴に差し込みます。

②取付けレバーを手前に回して固定します。

記憶 取消 メニュー
サイズ A/a 縫位置
前ページ 次ページ 戻

みど
あ行 な行
は行 わ行

布の基準線

押えのマーク 針落ち点
（スタート位置）

①模様を選んだ後、布の基準と針落ち点（スタート位置）がずれているときには、縫位置 キーを押して、◀▲▼▶キーで合わせます。

※◀▲▼▶キーを操作するときには、針が上がっている状態でキーを押してください。

※押えのマークを目安に布の基準線を合わせます。

※模様選び方は、37~38ページをごらんください。

★書体の切替え

記憶
取消
メニュー
サイズ
前ページ
次ページ
戻る
キーを押すと
【日本語】
よこ
たて
サイズ15mm
あ行 か行 さ行 た行 な行
は行 ま行 や行 ら行 ゛わ行
キーを押すと
【次の画面に切り換わります。】
キーを押すと
【ひとつ前の画面に戻ります。】
あいうえお つやゆよ ー＆
ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行
ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ゛ワ行
アイウエオ ツヤユヨ 0-4 5-9
小中 学校 幼稚 保育 園会
年組 係班 子供 生才 部日
月火 水木 金土 一~五 六~十
※戻るキーを押すと
※使用出来る刺しゅう枠の番号1（別売品）と番号3（大型丸枠）を表示しています。
※キーを押すごとにサイズが変わります。
（日本語） （アルファベット）
サイズ15mm サイズ18mm
サイズ10mm サイズ10mm
サイズ30mm
※色替えするときに押します。
（39ページをごらんください。）
【アルファベット】
（ゴシック体）2画面あります。
ABab サイズ18mm
ABCDE FGHIJ KLMNO PQRST UUWXYZ
0123 456 789
〔ヨーロッパ文字〕
（スクリプト体）2画面あります。
キーを押すごとに、大文字・小文字に切りかわります。

★模様の選び方〔例．ひらがな「みどり」（よこ文字）〕

よこ　サイズ15mm

あ行　か行　さ行　た行　な行

は行　ま行　や行　ら行　゛゜わ行

記憶　取消　メニュー

サイズ　A/a　縫位置

前ページ　次ページ　戻る

★ 記憶 記憶キー

模様を選んでキーを押すと
押した数だけ記憶されます。
（最大記憶数は、20文字です。）

★ 取消 取消キー

間違えて記憶した模様を
取消すときに押します。

① ま行　② 記憶　→　み＿

（2回押すと「み」が選べます。）

（「み」が記憶され次の文字が選べます。）

③ た行　④ 記憶　→　みと＿

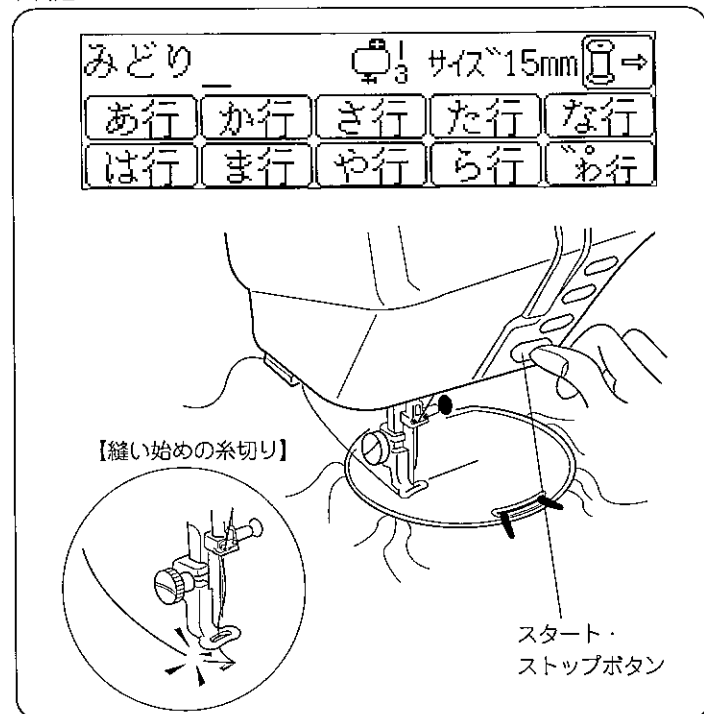
（5回押すと「と」が選べます。）

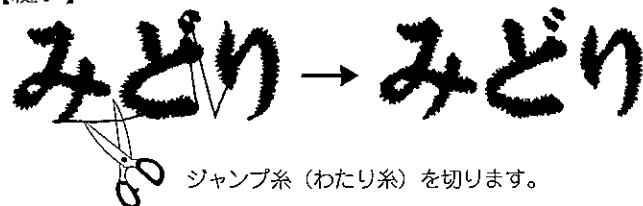
⑤ ゛゜わ行　⑥ 記憶　→　みど＿

（1回押すと「゛」が選べます。）

⑦ ら行　⑧ 記憶　→　みどり＿

（2回押すと「り」が選べます。）

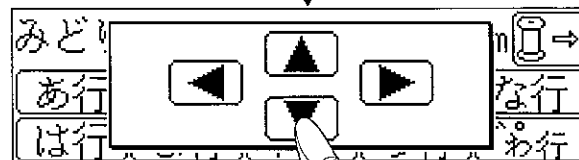
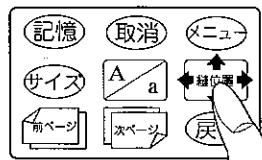
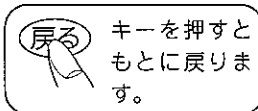
★縫い

◎押えをさげ、スタート・ストップボタンを押して
縫い始め5～6針縫ったら止めます。
押えをあげて、縫い始めの余分な糸を縫い目のき
わから切ります。
押えをさげて、縫い始めます。

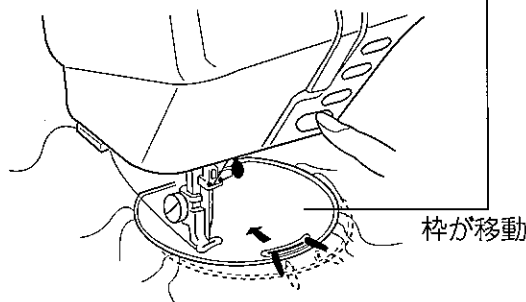
【縫い】

★色替えして縫うとき（例．みどり）

★つづけて同じ文字を他の位置へ、縫う場合

縫位置（縫い位置）キーを使います。

みどり
サイズ15mm
あ行 か行 さ行 た行 な行
は行 ま行 や行 ら行 わ行

記憶 取消 メニュー
サイズ A/a 縫位置
前ページ 次ページ 戻

キーを押します

戻る キーを押すともとに戻ります。

枠が移動

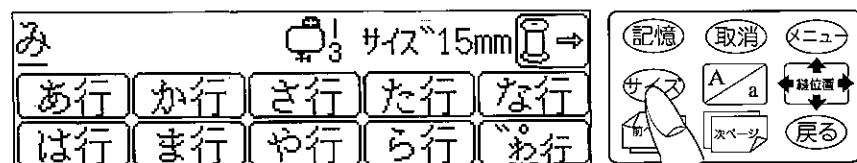
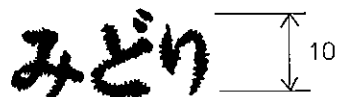
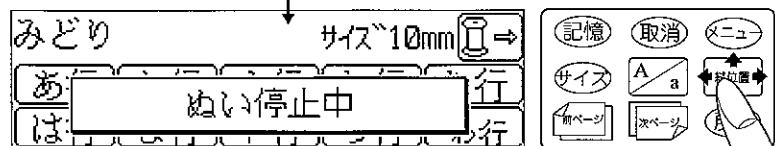
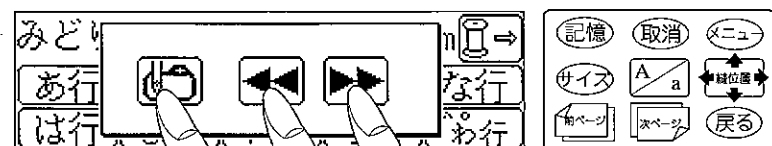
【縫い】

みどり
みどり

位置が決まったら、スタート・ストップボタンを押して縫い始めます。

※縫い始めの位置（針落ち点）がずれているときにも枠移動キーを使用してください。（36ページをごらんください。）

★文字サイズ切替え　(例.「みどり」)

※模様を記憶する前に（サイズ）(文字サイズ切替え) キーを押します。

★糸切れのときの直し方（★頭出しキー・★枠後退キー・★枠前進キーの使い方）

※ キーを操作するときには、針が上っている状態でキーを押してください。

★日本語ひらがな（たて文字）（例.「みどり」）

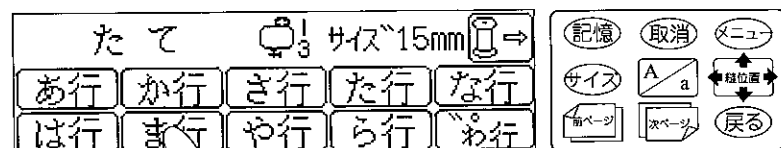
① ま行 ② 記憶 →

「み」

③ た行 ④ 記憶 →

「と」

⑤ ゛゜わ行 ⑥ 記憶 →

「゛」

⑦ ら行 ⑧ 記憶 →

「り」

【縫い】

★アルファベット（ゴシック文字）（例.「E－X」）

① ABCDE ② 記憶 → E_

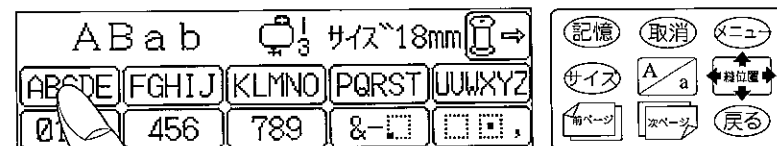
「E」

③ &- ④ 記憶 → E－_

「－」

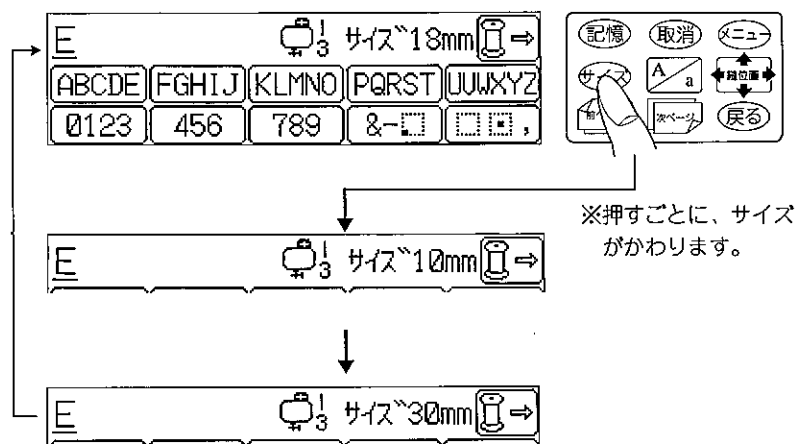
⑤ UVWXYZ ⑥ 記憶 → E－X_

「X」

【縫い】 E-X

★アルファベット文字サイズ切替え　(例.「E－X」)

※模様を記憶する前に、(サイズ) キーを押します。

E　サイズ18mm
ABCDE | FGHIJ | KLMNO | PQRST | UVWXYZ
0123 | 456 | 789 | &-□ | □□,

※押すごとに、サイズがかわります。

E　サイズ10mm

E　サイズ30mm

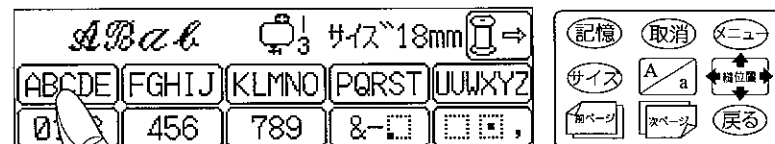
【縫い】

(サイズ) 10mm のとき　E-X　10

(サイズ) 18mm のとき　E-X

(サイズ) 30mm のとき　E-X

★スクリプト体大文字・小文字の組み合わせ　(例.　A▭a)

ABab　サイズ18mm
ABCDE | FGHIJ | KLMNO | PQRST | UVWXYZ
0123 | 456 | 789 | &-□ | □□,

① [ABCDE]「A」　② (記憶)　→　A_

③ [次ページ]（画面を切替えます。）

④ [━⋯]（ロングスペースを選びます。）　⑤ (記憶)　→　A⋯_

⑥ [前ページ]（画面を切替えます。）

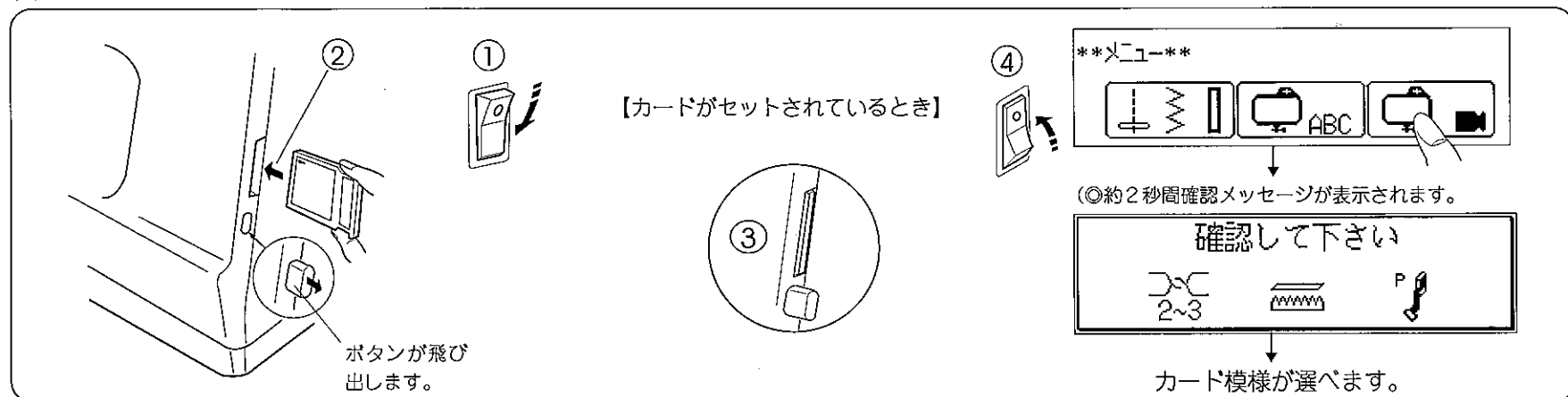
⑦ [A/a]（小文字にします。）　⑧ [abcde]「a」　⑨ (記憶)　→　A⋯a_

【縫い】

A　a

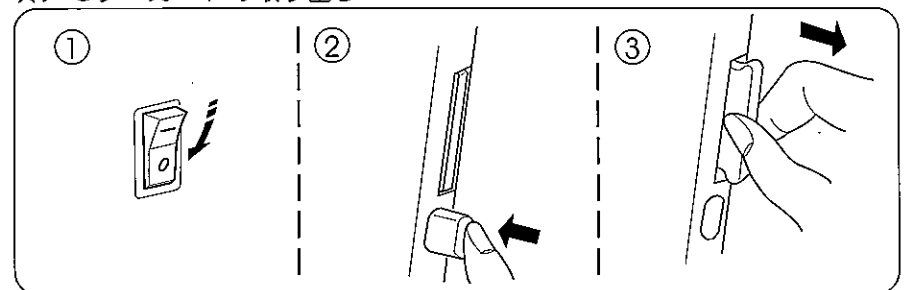
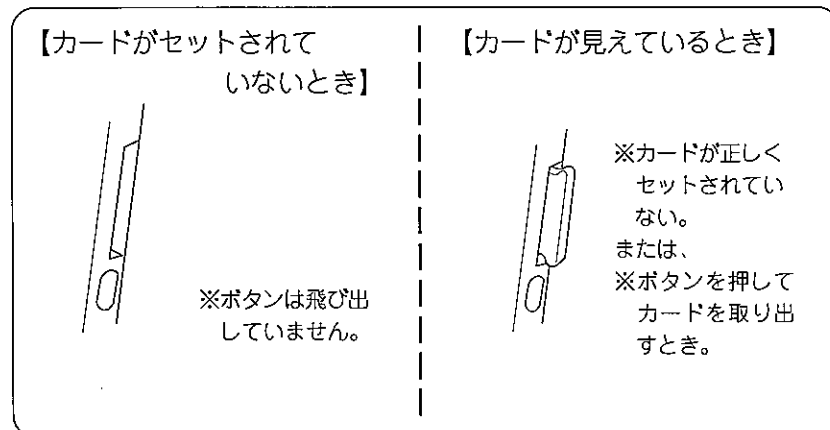
（35mm のスペース）

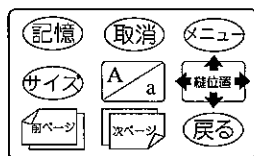
●メモリーカード（別売品）刺しゅう縫い （カードNo.1～およびカードNo.51～）

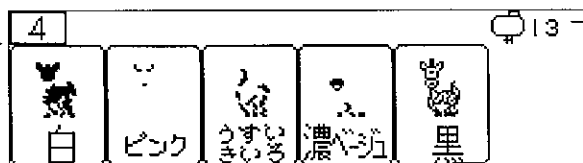
★メモリーカードのセット

①電源スイッチを切りにします。
②メモリーカードの表紙（矢印）を表にして、
まっすぐに差し込みます。
※「カチ」と小さな音がするまで、少し強く押し込むと、
ボタンが飛び出します。

③カードは、約2mm飛び出し
ている状態が正常です。

④電源スイッチを入れると、メニュー画面
になります。
※ ［ ］キーを押して模様を選びます。

★メモリーカードの取り出し

①電源スイッチを切り
にします。
②ボタンを押します。
③カードを引き抜きます。

★大型模様メモリーカードNo.51～の縫い　（例．No.51）

（2画面あります。）

※画面の切替えなどキーボードの使い方は、刺しゅう縫い（文字）と同じです。

【模様No．4】

※使用出来る刺しゅう枠の番号1（別売品）と番号3を表示しています。

【縫い】

①画面の模様（No．4）を押すと糸の色と縫う順序が表示されます。

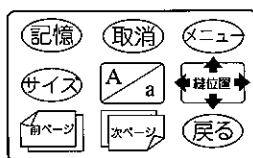
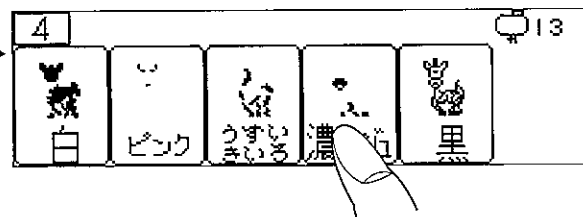
②　模様を縫って自動的に止まりますので、糸を交換してください。同じ要領で最後まで縫います。

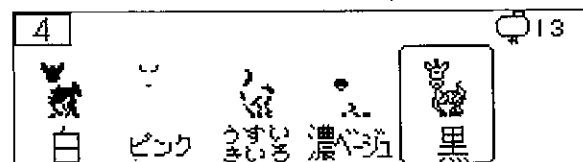
※刺しゅう位置を変更するときには、35-36をごらんください。

※ジャンプ糸（わたり糸）は、各縫い順序の終わりに切ると、きれいに仕上がります。

※下糸のジャンプ糸（わたり糸）を切るときは、0.5cm以上残して切ってください。

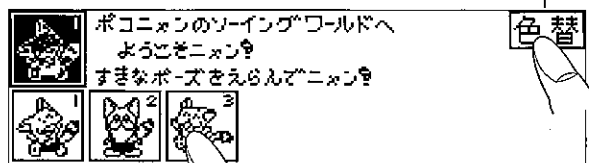
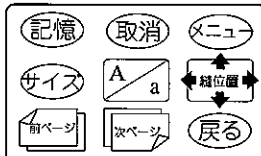
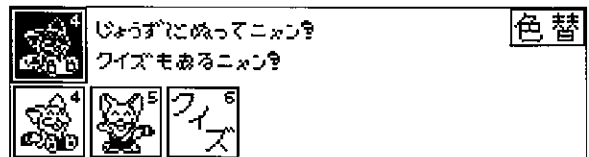
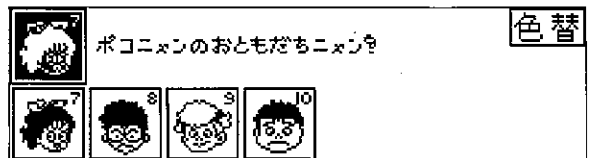
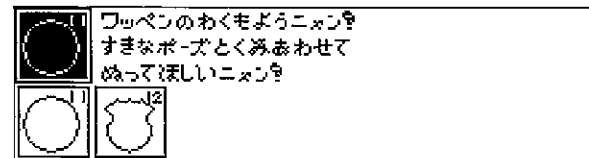
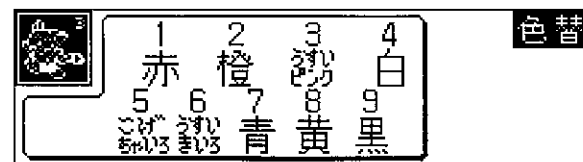
★スキップ縫い　（模様を部分的に縫う場合に使います。）

【例　模様Ｎｏ．４】

① 模様を選びます。

② 縫いたい模様の前のキーを押します。

③ 自動的に止まるまで縫います。

※スキップ縫いを変更したいときには、
(取消) キーを押します。
もとの画面に戻ります。

※(戻る) キーを押すと模様選択画面に戻ります。

【縫い】

★大型模様メモリーカードNo.1～の縫い　(例　カードNo.13)

①糸の色と縫う順序が表示されます。

②模様を縫って自動的に止まりますので、糸を交換してください。同じ要領で最後まで縫います。

※ジャンプ糸（わたり糸）は、各縫い順序の終わりに切ると、きれいに仕上がります。

※下糸のジャンプ糸（わたり糸）を切るときは、0.5cm以上残して切ってください。

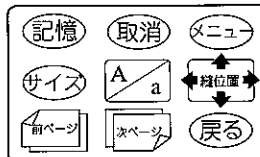
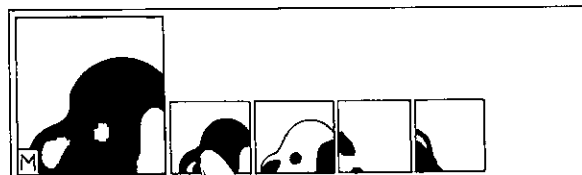
※画面の切替えなどキーボードの使い方は、刺しゅう縫い（文字）と同じです。

●スケッチランド（別売品）マイデザインカードによる刺しゅう縫い

メニュー

記憶　取消　メニュー　サイズ　前ページ　次ページ　戻る　縫位置

確認して下さい

2~3

※カード刺しゅう縫いと同じ要領で縫います。

●メッセージがでたとき・・・

⇒ 糸巻き中に表示されます。
巻き終わったら糸巻き軸を左に戻してください。

"◆"キーで、針を上に上げて下さい ⇒ 上下停針ボタンを押して針をあげます。

電源を切ってから、カードを入れ直して下さい ⇒ 電源を切って、カードを入れ直してください。

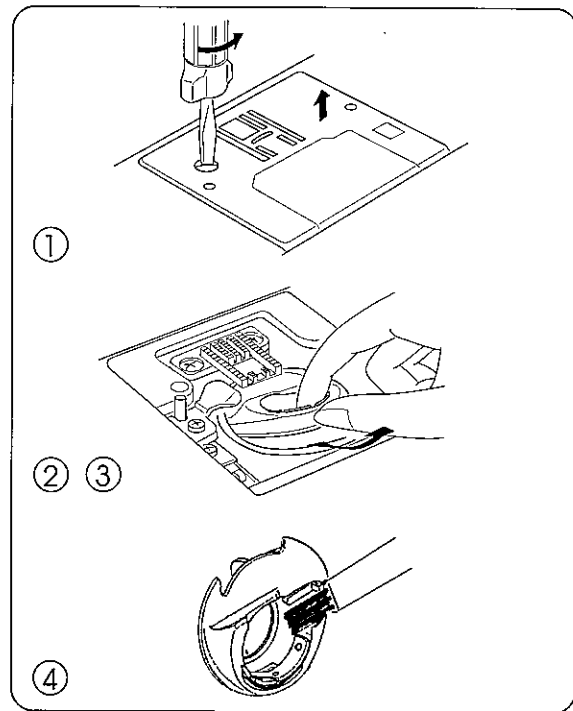
安全の為に停止しました ⇒ 表示が消える（約15秒間）までまってください。

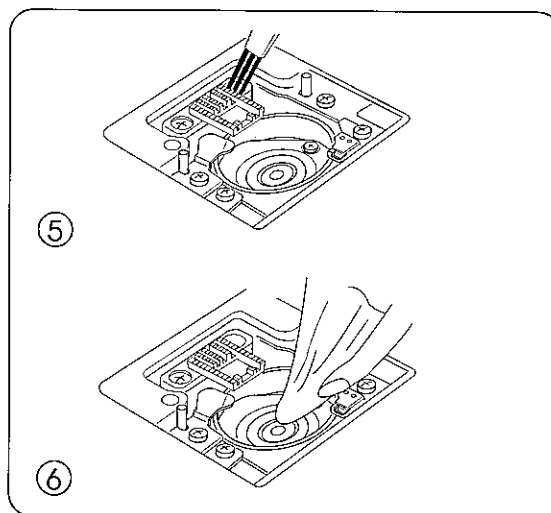
SYSTEM ERROR ⇒ お近くの販売店まで連絡してください。

●ミシンの手入れ

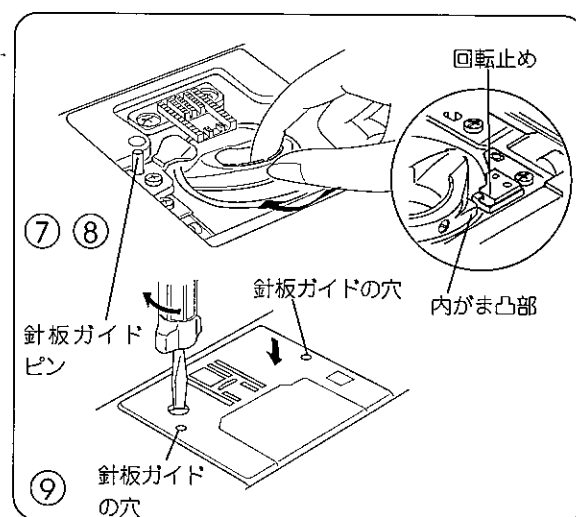
※手入れのときには、上下停針ボタンを押して針をあげてから、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
※手入れのときには、説明されている箇所以外は分解しないでください。
※このミシンは、注油の必要がありません。

◎使用後は、ゆきとどいた手入れをして、ミシンをいつも調子よくお使いください。

★かまの分解

①針と押えをはずします。
②針板しめねじをはずし、針板をはずします。
③ボビンを取り出し、内がまの手前を上に引きながらはずします。
④内がまを、ブラシで掃除し布切れで軽くふきます。

★かまと送り歯の掃除

⑤送り歯のごみを、ブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
⑥外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸いとってください。

★かまの組立て

⑦内がまをさしこみます。
⑧内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
⑨ボビンを入れ、２箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴を合わせて、しめねじをしめます。

※手入れがおわったら、忘れずに針と押えをつけてください。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	*区　分	そ の 原 因	直 し 方
音が高い。	共 通 共 通 共 通	1. かまの部分に、布ぼこり、糸くずが巻きこまれている。 2. 送り歯に、布ぼこり、糸くずがたまっている。 3. ステッピングモータからわずかな共鳴音がでる。	49ページ参照 49ページ参照 異常ではありません。
上糸が切れる。	共 通 共 通 共 通 共 通 共 通 実用縫 刺しゅう縫	1. 上糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針がまがっていたり、針先がつぶれている。 4. 針のつけ方がまちがっている。 5. 針にくらべて、糸が太すぎる。 6. 縫いはじめに、上糸・下糸を押えの下にそろえて引いていない。 7. 縫いはじめに、上糸を糸押えに掛けていない。	10ページ参照 14　34ページ参照 31ページ参照 31ページ参照 13ページ参照 16ページ参照 35ページ参照
下糸が切れる。	共 通 共 通 共 通	1. 下糸の通し方が、まちがっている。 2. 内がまの中に、布ぼこり、糸くずがたまっている 3. ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。	9ページ参照 49ページ参照 ボビンを交換する。
針が折れる。	共 通 共 通 共 通 共 通 共 通 実用縫	1. 針のつけ方がまちがっている。 2. 針がまがっていたり、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 4. 上糸調子が、特に強すぎる。 5. 縫いおわったとき、布を向こう側に引いていない。 6. 布にくらべて、針が細すぎる。	31ページ参照 31ページ参照 31ページ参照 14　34ページ参照 17ページ参照 13ページ参照
液晶表示が見にくい。	共 通	1. 調整つまみの位置がよくない。	4ページ参照 (液晶表示板調整つまみをまわす。)
刺しゅう縫いキーが使用できない。	刺しゅう縫	1. メモリーカードがセットされていない。	44ページ参照
縫い位置キーが使用できない。	刺しゅう縫	1. 針が下がっている。	41ページ参照 (はずみ車をまわして針を上げる。)

*区分：共通→実用縫い・刺しゅう縫いに共通な場合、実用縫→実用縫いの場合、刺しゅう縫→刺しゅう縫いの場合

調子が悪い場合	＊区　分	そ　の　原　因	直　し　方
縫い目がとぶ。	共　通	1. 針のつけ方がまちがっている。	31ページ参照
	共　通	2. 針がまがっていたり、針先がつぶれている。	31ページ参照
	共　通	3. 布に対して、針と糸が合っていない。	13ページ参照
	共　通	4. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ブルー針を使っていない。	13ページ参照
	共　通	5. 上糸の掛け方がまちがっている。	10ページ参照
	共　通	6. 品質の悪い（錆びている、針穴の仕上げが悪い）針を使用している。	針を交換する。
	実用縫	7. 押え圧が弱い。	12ページ参照
	刺しゅう縫	8. 刺しゅう枠が正しく取付いていない。	35ページ参照
	刺しゅう縫	9. 刺しゅう枠に布をきちんと張っていない。	35ページ参照
	共　通	10. 伸縮性のある布に芯地を使っていない。	20　22　33ページ参照
縫い目がしわになる。	共　通	1. 上糸調子が合っていない。	14ページ参照
	共　通	2. 上糸・下糸の掛け方がまちがっていたり，糸が必要以外の部分にからみついている。	9　10ページ参照
	共　通	3. 布にくらべて針が太すぎる。	13ページ参照
	実用縫	4. 布にくらべて縫い目があらすぎる。	縫い目を細かくする。
	実用縫	5. 押え圧が合っていない。 ＊特にうすい布を縫うときは、下側に紙をあてて縫ってください。	12ページ参照
	刺しゅう縫	6. 刺しゅう枠に布をきちんと張っていない。	35ページ参照
	刺しゅう縫	7. うすい布や、伸縮性のある布に対して、芯地を使っていない。	20　22　33ページ参照
縫いずれがおこる。	実用縫	1. 押え圧が合っていない。	12ページ参照
	実用縫	2. 薄物・ニット地などの縫いずれし易い素材に適した押えを使用していない。	20　22ページ参照
布送りがうまくいかない。	実用縫	1. 送り歯に糸くずがたまっている。	49ページ参照
	実用縫	2. 押え圧が弱い。	12ページ参照
	実用縫	3. 縫い目が細かすぎる。	縫い目をあらくする。
	実用縫	4. 縫いはじめに、布が送られない。	17ページ参照
	実用縫	5. 送り歯があがっていない。	34ページ参照
	実用縫	6. 端縫いの時、模様 1 で行っている。	模様 2 を選ぶ。

＊区分：共通→実用縫い・刺しゅう縫いに共通な場合、実用縫→実用縫いの場合、刺しゅう縫→刺しゅう縫いの場合

調子が悪い場合	＊区　分	そ　の　原　因	直　し　方
ミシンがまわらない。	共　通 共　通 共　通 実用縫 刺しゅう縫	1. コンセントに、プラグがきちんとさしこまれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2. かまに、布ぼこり、糸くずがたまっている。 （このとき、ミシンの安全装置がはたらいて、モータを自動停止します。） 3. 電子回路の制御手順にズレが生じている。 4. コントローラー（別売品）が接続されたままで、スタート・ストップボタンを使用している。 5. コントローラー（別売品）で刺しゅう縫いをしようとしている。	7ページ参照 49ページ参照 電源スイッチを切り、ふたたび入れて模様をセットしてください。 7ページ参照 33ページ参照
スイッチＯＮで異常音。（ミシンがまわらない。）	共　通 共　通	1. キャリッジとアームの間に布などがはさまっている。 2. キャリッジが周辺に置いてある物に当たっている。	はさまっているものを取除く。 34ページ参照
模様が整わない。	共　通 共　通 実用縫 実用縫 共　通 刺しゅう縫 刺しゅう縫 刺しゅう縫 刺しゅう縫 刺しゅう縫	1. 指定の押えを使用していない。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 布に対して送りが合っていないため、模様が整わない。 4. 送り調節ねじが合っていない。 5. うすい布や伸縮性のある布に対し、芯地を使っていない。 6. キャリッジの刺しゅう枠取付けレバーがゆるんでいる。 7. キャリッジが周辺に置いてある物に当たっている。 8. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 9. 刺しゅうの時、布がひっかかっているか、はさみ込まれている。 10. 上糸がなくなったときの布裏の処理が悪い。	指定の押えを使用してください。 14　34ページ参照 32ページ参照 32ページ参照 20　22　33ページ参照 35ページ参照 34ページ参照 35ページ参照 布を正しい位置に直す。 布裏の余分な上糸を切ってください。
ボタンホールがうまくいかない。	実用縫 実用縫 実用縫	1. 布に対して、縫い目あらさが合っていない。 2. 伸縮性のある布のとき、伸びにくい芯地を使っていない。 3. 指定された押えを使用していない。	24ページ参照 22ページ参照 22ページ参照
模様が選べない。	共　通 刺しゅう縫 共　通 共　通	1. 下糸巻きの状態のままになっている。 2. 記憶できる限度を超えて、模様を記憶させている。 3. 電子回路の制御手順にズレが生じている。 4. 実用縫いモード・刺しゅう縫いモードの選択がまちがっている・・・。	48ページ参照 38ページ参照 電源スイッチを切り、ふたたび入れて模様をセットしてください。 15　34ページ参照

＊区分：共通→実用縫い・刺しゅう縫いに共通な場合、実用縫→実用縫いの場合、刺しゅう縫→刺しゅう縫いの場合

仕	様
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	65W/ランプ3W
外形寸法	幅44cm×奥行21cm×高さ31cm
重量	12.0kg（本体）
使用針	家庭用　HA×1
縫速度	毎分820回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

お客様相談コーナー

★ジャノメミシンでは全国300近くの直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。

★お問合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や個所がわかって便利です。

★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室　☎03(3277)2315
〒104　東京都中央区京橋3－1－1

札幌支店　☎011(861)5634
〒003　札幌市白石区本通3丁目北1－21

仙台支店　☎022(219)4126
〒981　仙台市青葉区昭和町2－25NOKAIビル1F

新潟支店　☎025(249)7481
〒950　新潟市米山2－16

名古屋支店　☎052(733)5116
〒466　名古屋市昭和区阿由知通1－12－3

大阪支店　☎06(213)1635
〒542　大阪市中央区心斎橋筋2－6－9

京都支店　☎075(211)9132
〒605　京都市中京区丸太町通烏丸東入光り堂町420
京都インペリアルビル

広島支店　☎082(228)5181
〒730　広島市中区幟町15－9

高松支店　☎0878(31)1721
〒760　高松市常磐町1－4－10

福岡西新支店　☎092(821)6495
〒814　福岡市早良区西新2－6－2

熊本支店　☎096(354)6523
〒860　熊本市上通り町8－15

＊上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。